FORIS.TV™

取扱説明書

設置と準備

スタンドの取りつけから機器の接続、リモコンの準備まで、本機を使える状態にする準備を説明しています。

テレビの操作

テレビを見るための基本操作、接続した機器の映像を見るための操作、その他の便利な機能を説明しています。

DVDの操作

内蔵DVDプレーヤーの操作を説明しています。本機で使えるディスクとその取り扱いについても説明しています。

調整と設定

画質や音質、画面表示、省電力機能、チャンネル設定、DVD再生に関する調整や設定のしかたを説明しています。

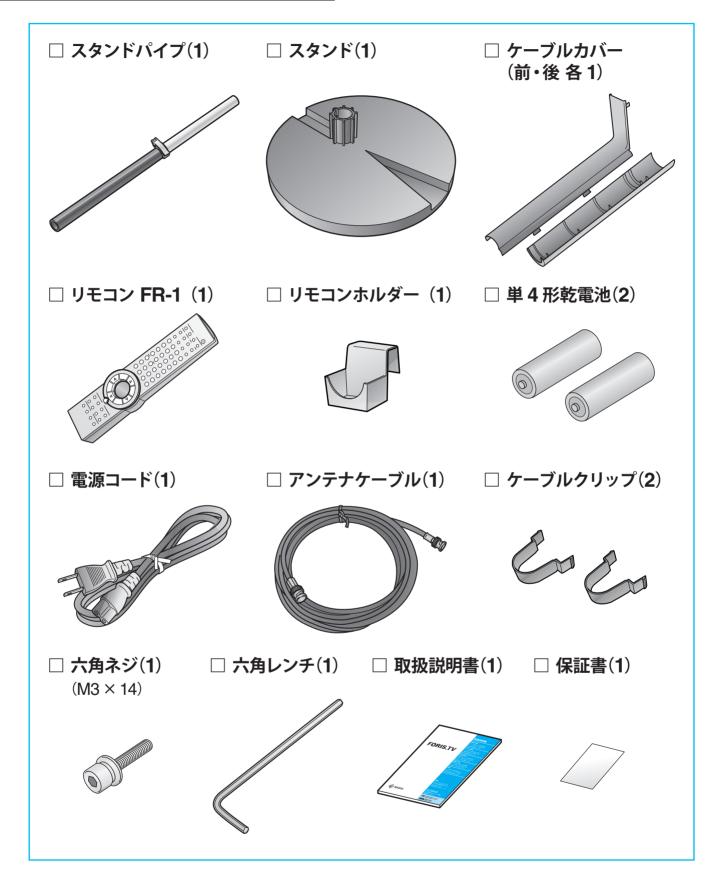
付録

トラブル時の対処や本機のお手入れ、仕様のご紹介、テレビやDVD再生に関する用語の解説を記載しています。

重要

お買い上げありがとうございます。
使用する前に取扱説明書をよく読み正しくお使いください。
取扱説明書は大切に保管してください。

EIZO®

SC23XA1
23V型DVDプレーヤー内蔵カラー液晶テレビ

本機の特長

FORIS.TV SC23XA1 には、次のような特長があります。

広い視野角と高いコントラストを実現する高性能液晶パネルを採用

WXGA（1280 × 768）対応、高輝度（450cd/m2）、広視野角（上下・左右170°）、低色度変位の液晶パネル（IPS モード）を採用しています。

EIZO 独自の高速応答ナチュラルオーバードライブ回路を搭載

液晶パネルの応答速度性能を最大限に引き出し、動画をくっきりと表示させるオーバードライブ補正に独自の回路を搭載し、動画に対する応答速度とナチュラルな映像表示を両立しています。

プログレッシブスキャンでハイビジョン画像を実現

映像の動きの変化量を感知し、それに合わせて最適な処理をおこなうプログレッシブスキャン方式を採用しています。通常の映像方式に加え、高速処理を必要とする 1080i の映像についても高解像度の動画・静止画再生を実現しました。

大容量スピーカーボックスを内蔵

23V 型の薄型テレビに対して、同クラス最高の大容量スピーカーボックスを採用。2.7 リットルのエンクロージャーと大口径 10cm スピーカーにより、迫力のある音場を創りだしています。

番組から CM に切りかわったときの音量差を制御するオートゲインコントロール（AGC）機能を搭載

音量格差を自動調整する AGC 機能を搭載し、番組本編から CM に切りかわるときに起きる急な音量アップを防止し、深夜のテレビ視聴でも安心して番組を楽しむことができます。

薄型テレビに DVD プレーヤーを内蔵

DVD プレーヤーを搭載していますので、テレビ放送はもちろん、これ一台で DVD や CD も楽しむことができます。面倒な接続や配線、DVD の設置スペースを気にする必要がありません。また CD 音声モードでは、CD 再生時のバックライト電力を削減。テレビやビデオを見ながら音楽を聴くなど、「ながらのテレビ映像表示」も可能です。

2 画面を同時に見ることができる楽しさ倍増の機能を搭載

一つの画面で二つの画面を同時に楽しめる「PsideP」や「PinP」機能を搭載しています。例えば、DVD で映画を楽しみながら、気になるスポーツ中継を同時に表示することができます。

BBE High Definition Sound（ハイデフィニションサウンド）を採用

BBE High Definition Sound は、人の声や楽音を原音に極めて近いリアルな音で再現します。

光デジタル音声出力端子を装備

ドルビーデジタルや DTS、MPEG2 デコーダー内蔵アンプを接続することにより、迫力と臨場感のあるサラウンド音声が楽しめます。

ライフスタイルに合わせて設置の自由度を創出

無段階昇降スタンドは、上下 20cm の範囲で画面の高さを変えられ、また左右に画面を回せるスウィーベル機能を搭載しています。ダイニングでの椅子に座った位置、リビングでの低いソファに座った視線、フロアに座った目線で向かえるなど、各々のスタイルで楽しむことができます。

画面の明るさを自動で調整可能

周囲の明るさに合わせて、画面を最も見やすい明るさに自動的に調整する明るさ自動調整機能を搭載しています。照明を気にすることなく、映像が楽しめます。

待機（スタンバイ）電力 0.1W 以下を実現

待機時における消費電力を 0.1W 以下に抑えた節電対応の新電源回路を搭載しています。

Contents

もくじ

付属品の確認 ―――― i
安全のために ―――― vii
使用上の注意 ―――― vii
液晶パネルについて ―――― xi
正しく快適にお使いいただくために ―――― xi

Chapter1 設置と準備

スタンドを取りつける ―――― 2
ケーブルの接続 ―――― 4
本体の端子について ―――― 4
アンテナ線を接続する ―――― 5
BSチューナーやCSチューナーを接続する ―――― 6
ビデオデッキを接続する ―――― 7
外部オーディオ機器を接続する ―――― 8
電源コードを接続する ―――― 10
転倒防止の処置 ―――― 10
ケーブルをまとめる ―――― 11
リモコンの準備 ―――― 12
電池を入れる ―――― 12
リモコンホルダーを取りつける ―――― 12

Chapter2 テレビの操作

本体各部の紹介 ―――― 14
リモコンと本体操作ボタンの説明 ―――― 16
リモコン ―――― 16
本体操作ボタン ―――― 17
テレビの基本操作 ―――― 18
電源を入れる ―――― 18
音量を調節する ―――― 18
電源を切る ―――― 19

■ チャンネル操作 ― 20
チャンネルを選ぶ ― 20
■ 映像入力の操作 ― 22
映像入力を切り換える〈入力切換〉 ― 22
映像入力の情報を確認する〈画面表示〉 ― 22
■ 映像や音声の切り換え ― 24
音声を切り換える〈音声切換〉 ― 24
画質を切り換える〈映像モード〉 ― 24
音質を切り換える〈音声モード〉 ― 25
■ テレビの便利な機能 ― 26
音声を消す〈消音〉 ― 26
テレビやビデオを見ながらCDを聞く〈CD音声〉 ― 26
画面を静止する〈静止〉 ― 27
電源を自動的に切る〈オフタイマー〉 ― 28
■ 画面サイズの変更 ― 30
画面サイズを切り換える〈画面サイズ〉 ― 30
■ 2画面表示 ― 32
2画面表示にする〈2画面〉 ― 32
■ 本体操作をロックする ― 34
■ 画面の明るさを自動的に調整する ― 34

Chapter3 DVDの操作

■ DVD使用上の注意 ― 36
ディスクの取り扱い ― 36
ディスクの保管とお手入れ ― 37
■ ディスクについて ― 38
再生できるディスク ― 38
DVDのマーク表示について ― 39
タイトル、チャプター、トラックについて ― 39

Contents

ディスクの再生 ―――――― 40

ディスクをセットする ―――――― 40
ディスクを取り出す ―――――― 40
再生する ―――――― 42
再生を止める ―――――― 42
早送り、早戻しする ―――――― 43
一時停止する ―――――― 44
スローモーションにする ―――――― 44
コマ送りする ―――――― 45
チャプターやトラックを頭出しする ―――――― 45

メニューの操作 ―――――― 46

DVDメニューを使う ―――――― 46
トップメニューを使う ―――――― 47

ディスク情報の表示 ―――――― 46

情報を表示させる ―――――― 46

再生位置の指定 ―――――― 48

タイトル番号を探す ―――――― 48
再生開始時間を指定する ―――――― 48
チャプター番号を探す ―――――― 49
トラック番号を探す ―――――― 49

再生順の変更 ―――――― 50

繰り返し再生する ―――――― 50
順不同に再生する（ランダム再生） ―――――― 50
一部分を繰り返し再生する（ABリピート） ―――――― 51
順不同に繰り返し再生する ―――――― 51
好きな順に再生する（プログラム再生） ―――――― 52

再生中の切り換え操作 ―――――― 54

アングルを切り換える ―――――― 54
字幕表示を入/切する ―――――― 54
音声言語を切り換える ―――――― 55
字幕言語を切り換える ―――――― 55

DVD初期設定メニューについて ―――――― 56

Chapter4 調整と設定

■ **設定メニューの操作** 58
設定メニューを呼び出す 58
設定メニューの基本操作 58
■ **設定メニューのメニュー一覧** 60
■ **画質を設定する** 62
■ **音質を設定する** 64
■ **省電力の設定をする** 66
■ **2 画面表示の設定をする** 66
■ **初期設定をする** 68
[画面サイズ切換]が[自動]のときの画面サイズ 70
■ **チャンネルの設定** 72
チャンネルを自動で設定する 72
チャンネルを手動で設定する 74
■ **DVD 初期設定** 76
DVD 初期設定メニューの基本操作とメニュー一覧 76
言語を設定する 78
デジタル出力の設定をする 80
視聴年齢を制限する 82

付録

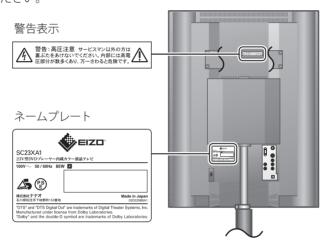
■ **トラブル時の対処** 86
■ **クリーニングについて** 89
■ **仕様一覧** 90
■ **用語集** 92
■ **索引** 94
■ **保証書とアフターサービスについて** 95

安全のために

使用上の注意

重要

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」を
よく読み、必ずお守りください。

絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示したりするものです。たとえば は「電源プラグを抜くこと」を示しています。

⚠警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

異物を入れない、液体の入ったものや濡れたものを置かない

本製品内部に金属、燃えやすいものや液体が入ると火災や感電、故障の原因となります。
万一、本製品内部に異物を落としたり、液体をこぼしたりした場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。

丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、転倒することがあり、けがの原因となります。
万一、倒れた場合は、電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外
- 車両・船舶などへの搭載
- 湿気やほこりの多い場所
- 水滴のかかる場所（浴室、水場など）
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く

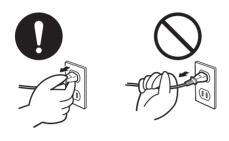
転倒防止の処置をする

地震など非常時の安全確保と事故（火災、感電、けが）を防止するためです。
（処置法については、10ページをご覧ください）

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内100VAC 専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。
－ 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
－ タコ足配線

ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない

本製品に使用の蛍光管（バックライト）の中には水銀が含まれているため、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。

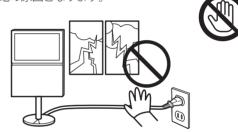
アンテナ工事は販売店またはエイゾーサポートに相談する

アンテナ工事には、技術と経験が必要です。送配電線の近くに設置すると、アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源プラグやコード、アンテナ線には触れない

感電の原因となります。

液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。
万一、漏れ出た液晶が誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。

乾電池の取り扱いに注意する

誤った使用は破裂や液漏れの原因となります。
－ 分解や加熱をしたり、濡らしたりしない
－ 電池の取りつけ、交換は正しくおこなう
－ 交換は、２本とも新しい同じ種類（単４形）を使う
－ プラス（＋）とマイナス（－）の向きを正しく入れる
－ 被覆にキズの入った電池は使用しない
－ 廃棄時は地域指定の「電池回収箱」などへ入れる

⚠注意

運搬のときは、接続コードをはずす

コードを引っ掛け、けがの原因となります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。

- 通風孔をカーテンなどでふさがない
- 通風孔の上や周囲にものを置かない
- 風通しの悪い、狭いところに置かない
- 周囲の壁から 10cm 以上の間隔をあけて設置する

電源プラグの周囲にものを置かない / 製品は電源コンセントの近くに設置する

火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。

画面を左右に回転する際には､接続コードが引っ張られないようにする

コードが強く引っ張られると、コードや接続機器が破損し、火災や感電、故障の原因となります。

DVD のディスクトレイに手を入れない

けがの原因となります。

DVD のレーザー光の光源部を見ない

目を痛める原因となります。

本製品を移動させるときは、2 人以上で下図のように持ち、おこなう

落としたりするとけがや故障の原因となります。

テレビの上に乗らない、重いものを置かない

転倒することがあり、けがの原因となります。

濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

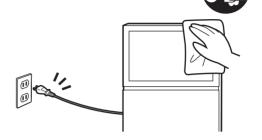
聴力に悪い影響を与える原因となります。

電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。

長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の主電源を切ったあと、電源プラグも抜く

クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと感電の原因となります。

液晶パネルについて

■ 画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

■ 液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。寿命の目安は約60,000時間（標準設定状態の場合）です。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

■ 液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。

■ 液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。

正しく快適にお使いいただくために

■ アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することをおすすめします。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

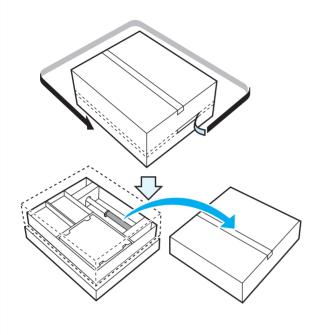
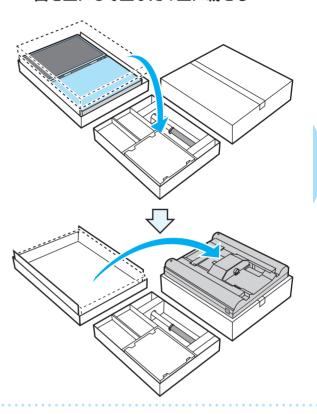
■ 画面を見るときは、画面の高さの５～７倍程度離れてご覧ください。

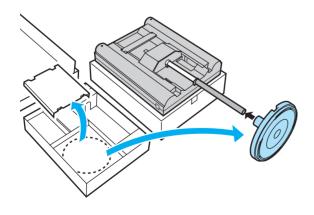
■ 本機の近くで電磁波を発生するような機器（携帯電話など）を使用しないでください。機器相互間での干渉により、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

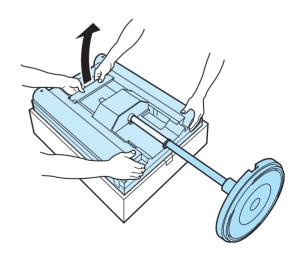
Chapter1
設置と準備

この章では、スタンドの取りつけと機器の接続について説明しています。
特に、スタンドの取りつけと転倒防止についてはよくお読みになり、確実に設置してください。

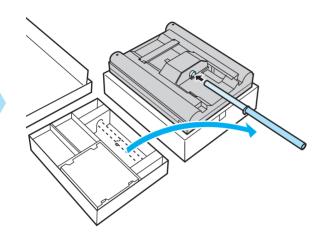
スタンドを取りつける

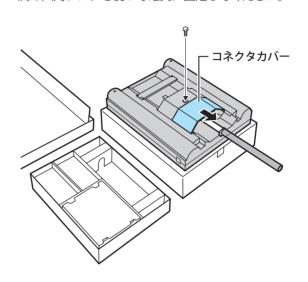
1 **梱包箱の側面部分をミシン目で切ってはがし、上ぶたをはずして床に置く**

2 **付属品の入った上の箱をはずして床に置き、本体を箱から取り出して裏返し、後面を上にして上ぶたの上に載せる**

5 **付属品の箱からスタンドを取り出して、スタンドパイプにはめる**

スタンドの溝とスタンドパイプの先端にある突起（ガイドピン）を合わせて、スタンドが抜けないよう確実にはめてください。

6 **本機を起こす**

図のように二人で持って起こしてください。

注意 安全のため、転倒防止の処置（10 ページ）をしてください。

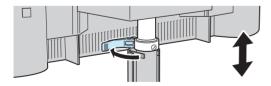
3 付属品の箱からスタンドパイプを取り出して、本体の差し込み口に差し込む

スタンドパイプの先端にある穴と差し込み口にある穴を合わせて、奥までしっかり差し込んでください。

4 コネクタカバーをスライドさせ、付属のネジを取りつける

このネジはスタンドパイプの抜け止めとなります。付属の六角レンチを使って確実に固定してください。

高さを調節するには

注意 高さの調節は、必ずケーブルを接続する前におこなってください。ケーブル接続後にはおこなわないでください。

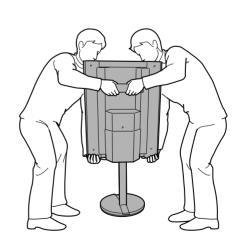
1 ストッパーを開いて高さを調節する

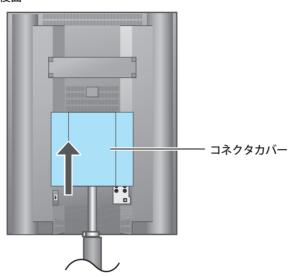
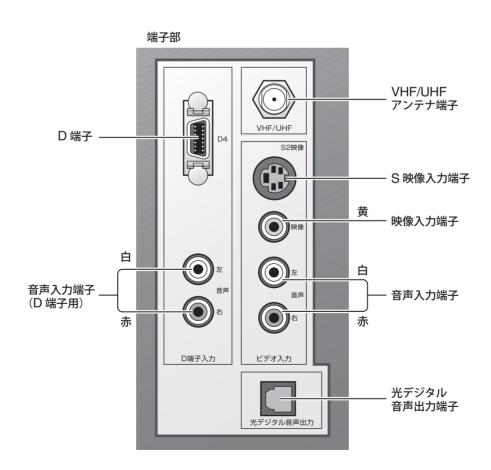
20cm の範囲で調節できます。

2 再びストッパーを閉める

注意 ストッパーに指をはさまないよう注意してください。

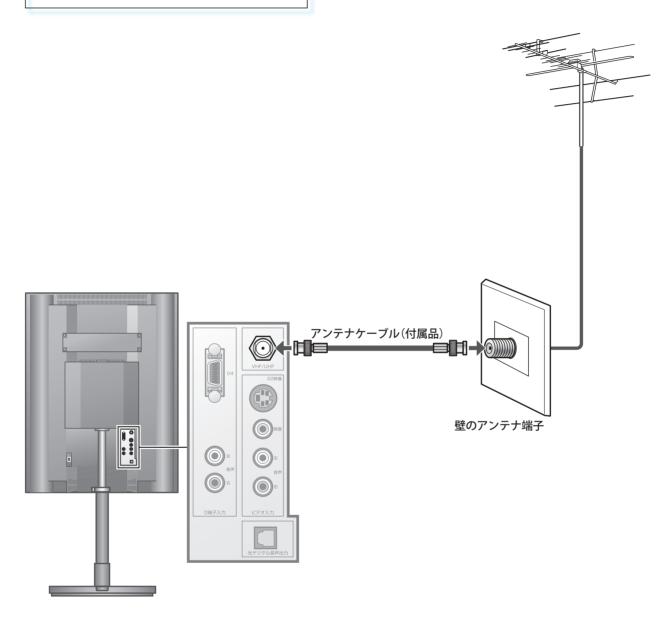
ストッパーの固定がゆるい場合には、ネジを締めて調節してください。

本機の持ちかた

本機を起こすときや運ぶとき、高さを調節するときは、図のように取っ手をつかんで本体の下部に手を添え、必ず２人で持ち上げるようにしてください。

本体の端子について

コネクタカバーを上にスライドさせると、後面の端子部が現れます。

❖ 機器を接続する際には、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

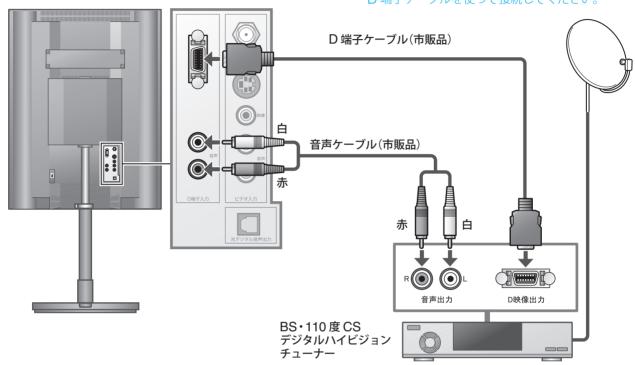
アンテナ線を接続する

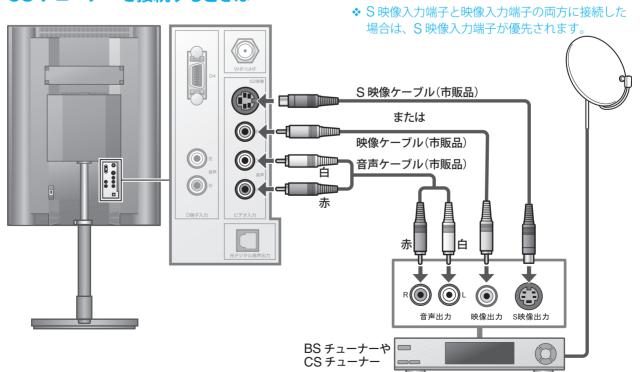
注意 機器の接続は、必ず電源コードをはずした状態でおこなってください。

❖ 壁のアンテナ端子が別の形状の場合は、市販の変換プラグなどをお使いください。

❖ 壁の VHF アンテナの端子と UHF アンテナの端子が別になっている場合は、市販のアンテナ混合器をお使いください。

BSチューナーやCSチューナーを接続する

BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーを接続するときは

❖ デジタルハイビジョンをお楽しみになる場合は、D端子ケーブルを使って接続してください。

BSチューナー（アナログ）やCSチューナーを接続するときは

❖ S映像入力端子と映像入力端子の両方に接続した場合は、S映像入力端子が優先されます。

ビデオデッキを接続する

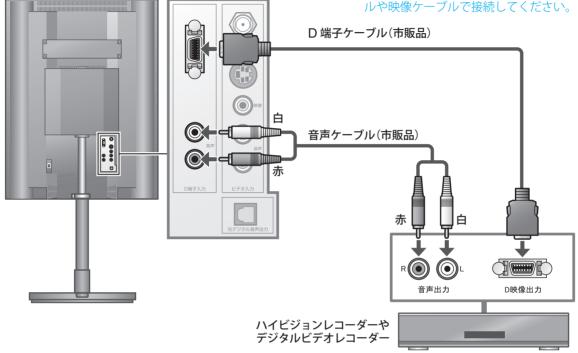
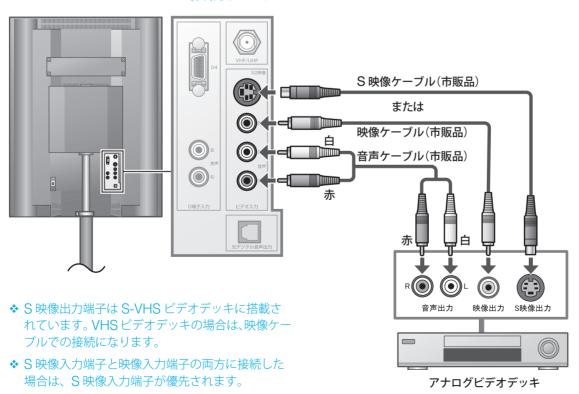
ハイビジョンレコーダーを接続するときは

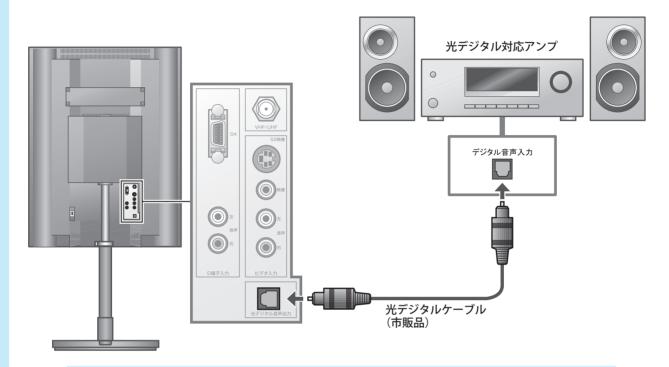
❖ 録画したハイビジョン映像をお楽しみになる場合は、D 端子ケーブルを使って接続してください。

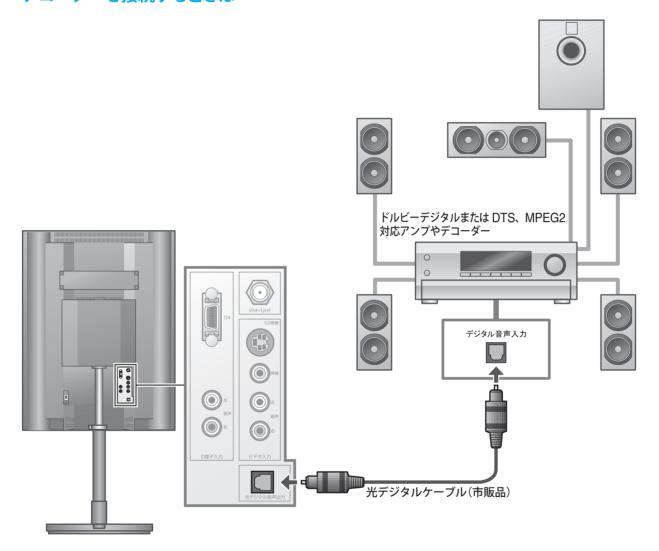
❖ レコーダーが D 端子を装備していない場合は、アナログビデオデッキの場合と同様に S 映像ケーブルや映像ケーブルで接続してください。

アナログビデオデッキを接続するときは

❖ S 映像出力端子は S-VHS ビデオデッキに搭載されています。VHS ビデオデッキの場合は、映像ケーブルでの接続になります。

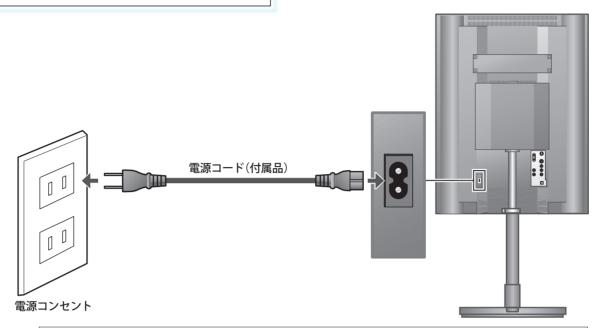
❖ S 映像入力端子と映像入力端子の両方に接続した場合は、S 映像入力端子が優先されます。

外部オーディオ機器を接続する

光デジタル対応アンプを接続するときは

注意
- 光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。接続するときには、折れ曲がらないように注意してください。
- ドルビーデジタルや DTS、MPEG2 に対応していない機器を接続するときは、DVD 初期設定メニューの［Dolby Digital］を［LPCM］、［DTS］を［Off］、［MPEG］を［LPCM］に設定してください。音が出ないことや異音が出て機器が破損することがあります。（81 ページ）
- 光デジタル音声出力端子から出力できる音声は、DVD プレーヤーからの音声のみです。

ドルビーデジタルまたは DTS、MPEG2 対応のサラウンドアンプやデコーダーを接続するときは

注意
- 光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。接続するときには、折れ曲がらないように注意してください。
- ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していない機器を接続するときは、DVD 初期設定メニューの［Dolby Digital］を［LPCM］に設定してください。［BitStream］にすると、音が出ないことや異音が出て機器が破損することがあります。（81 ページ）
- DTS デコーダーを内蔵していない機器を接続するときは、DVD 初期設定メニューの［DTS］を［Off］に設定してください。［On］にすると、大音量が出力され、耳に傷害を受けたり、スピーカーが破損することがあります。（81 ページ）
- MPEG2 デコーダーを内蔵していない機器を接続するときは、DVD 初期設定メニューの［MPEG］を［LPCM］に設定してください。［BitStream］にすると、音が出ないことや異音が出て機器が破損することがあります。（81 ページ）
- 光デジタル音声出力端子から出力できる音声は、DVD プレーヤーからの音声のみです。

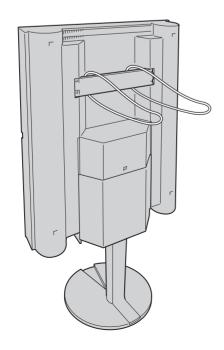
電源コードを接続する

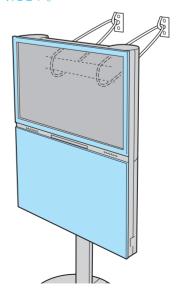
注意 電源コードは、必ずすべての機器の接続が終わったあとで接続してください。

警告

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用してください。

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

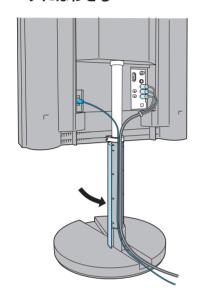
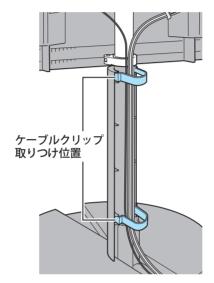
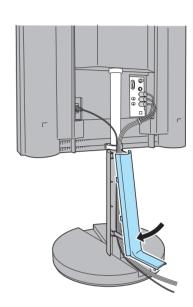
転倒防止の処置

1 本体後面の取っ手にワイヤーなどを通す

2 壁面にフックなどを取りつけ、ワイヤーをしっかり固定する

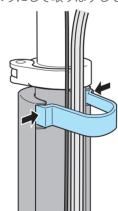
❖ ワイヤーやフックは付属しておりません。別途ご用意ください。

ケーブルをまとめる

1 **ケーブルカバー（前）をスタンドパイプに取りつけ、ケーブルをスタンドのパイプにはわせる**

2 **ケーブルクリップをケーブルカバー（前）の2か所に取りつけて、ケーブルを固定する**

3 **ケーブルカバー（後）を取りつける**

ケーブルクリップのはずしかた

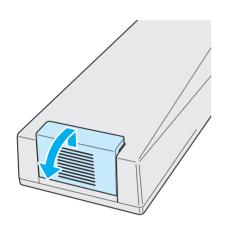
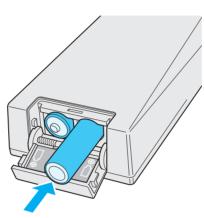
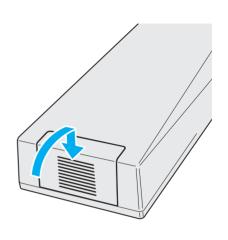
ケーブルクリップを取りはずすときは、図の矢印部分を内側に押すようにして取りはずしてください。

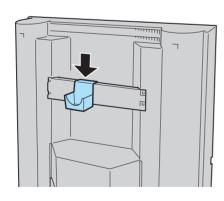
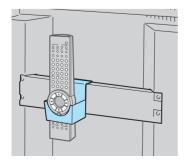
リモコンの準備

電池を入れる

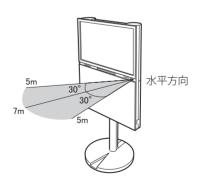
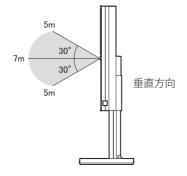
1 リモコンの底面を上にし、カバーを上にスライドさせてロックをはずし、手前に開く

2 単４形電池を入れる

注意 電池を入れる向きに注意してください。

3 カバーを閉じ、下にスライドさせてロックする

リモコンホルダーを取りつける

本体後面の取っ手にリモコンホルダーのフックをはめる

リモコンの受信範囲について

リモコンは、図の範囲内から操作してください。

Chapter2
テレビの操作

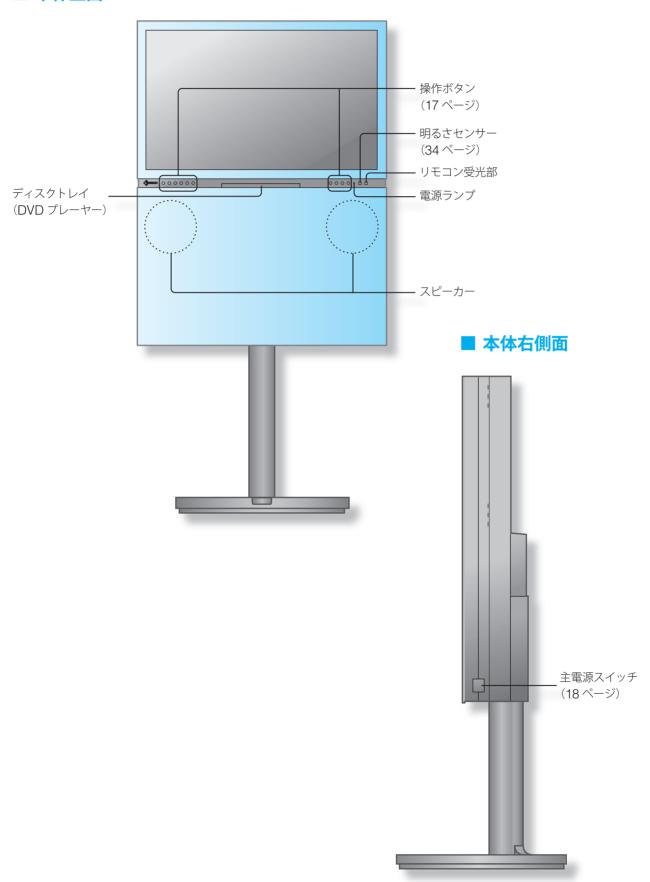
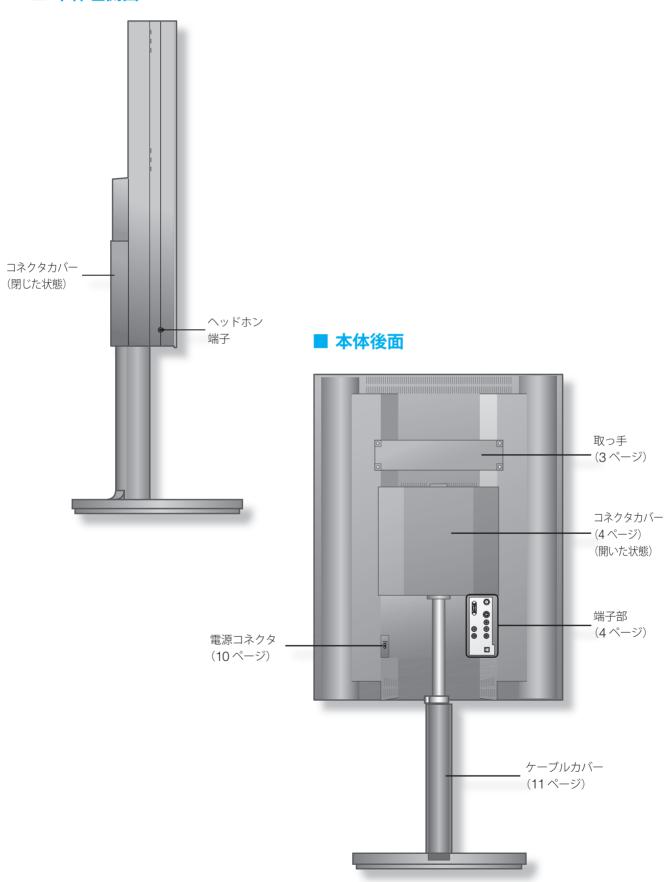
この章では、テレビを見るための基本的な操作や接続したビデオ機器などの映像を見るための操作、その他の便利な機能など、リモコンや本体のボタンでおこなう操作について説明しています。

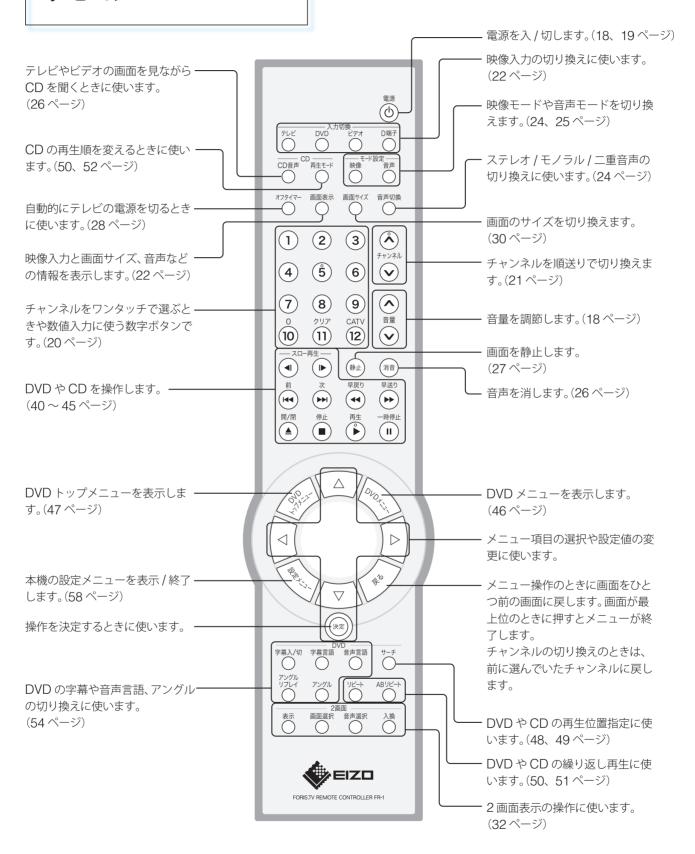
本体各部の紹介

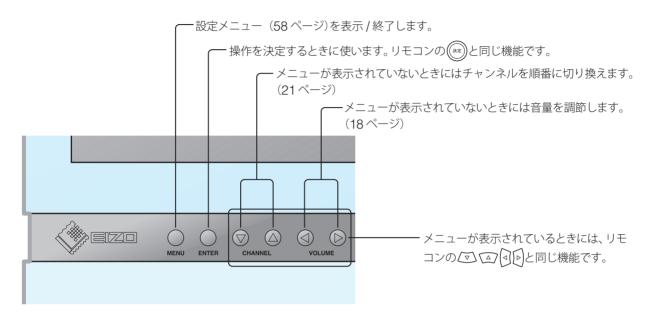
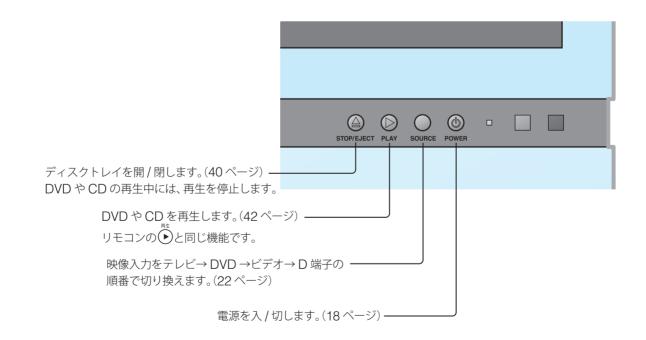
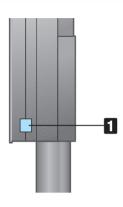
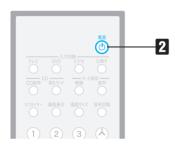
■ 本体正面

■ 本体右側面

■ 本体左側面

コネクタカバー
（閉じた状態）
ヘッドホン
端子
取っ手
（3 ページ）
コネクタカバー
（4 ページ）
（開いた状態）
端子部
（4 ページ）
電源コネクタ
（10 ページ）
ケーブルカバー
（11 ページ）

■ 本体後面

リモコンと本体操作ボタンの説明

リモコン

本体操作ボタン

■ 本体正面左

■ 本体正面右

電源を入れる

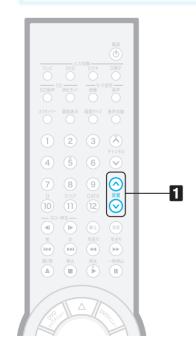
1 本体の主電源スイッチを押す

本体の電源ランプが赤く点灯します。

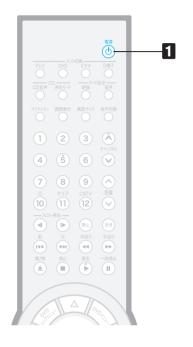
2 電源（または本体の POWER）を押す

電源が入り、電源ランプが緑に点灯します。
初めて電源を入れたときは、映像入力（22 ページ）はテレビが表示されます。
2 回目からは、前回電源を切ったときの映像入力の画面が表示されます。

音量を調節する

1 音量（または本体の VOLUME ◁ ▷）を押す

∧または▷を押すと、音量が上がります。

∨または◁を押すと、音量が下がります。

電源を切る

1 電源 ⏻（または本体の ⏻ POWER ）を押す

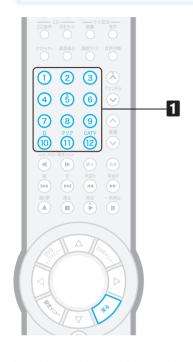
電源が切れ、電源ランプが赤く点灯します。

- 電源 ⏻ または ⏻ POWER で電源を切ったときは、本機はスタンバイ状態となっています。DVD プレーヤーのディスクトレイを開くと、自動的に電源が入ります。
- スタンバイ状態では少量ですが電気を消費します。完全に電源を切りたいときには、主電源を切ってください。

2 本体の主電源スイッチを押す

主電源が切れ、電源ランプが消灯します。

注意 長期間本機をご使用にならないときは、安全のため主電源を切って電源コードも抜くようにしてください。

チャンネルを選ぶ

チャンネルをワンタッチで選ぶには

1 ①から⑫のどれかを押す

あらかじめ①から⑫のボタンに割り当てられているチャンネルに変わります。

❖ 工場出荷時には、VHF 放送の 1 から 12 チャンネルが割り当てられています。

チャンネルの割り当ては、変更することができます。詳しくは、「チャンネルの設定」（74 ページ）をご覧ください。

❖ チャンネルをワンタッチで選ぶには、設定メニューの初期設定メニューで、［チャンネル選択方式］を［ダイレクト］に設定している必要があります。（68 ページ）

❖ 戻るを押すと、前に選んでいたチャンネルに戻ります。

❖ 選んだチャンネルに放送がない（信号がない）ときは、自動的に消音されます。

チャンネルの番号を直接指定するには

設定メニューの初期設定メニュー（68 ページ）で、［チャンネル選択方式］を［10 キー］に設定しているときは、リモコンの数字ボタンでチャンネル番号を入力して選局します。

テレビチャンネルを選ぶとき

（例：4 チャンネル）

1 ④を押す

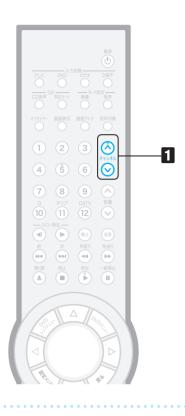
画面に番号が表示されます。

2 決定（または本体の ENTER）を押す

4 チャンネルに変わります。

決定や ENTER を押さなくても、3 秒間何も操作しないとチャンネルが変わります。

❖ 10 から 62 チャンネルを選ぶときは、手順 2 の操作はいりません。例えば 14 チャンネルを選ぶ場合は、①④とつづけて押すと 14 チャンネルに変わります。

❖ 0 を入力するには、⑩を押します。

チャンネルを順送りで選ぶには

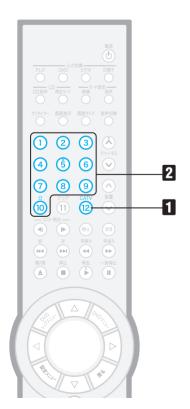
1 チャンネル ⌃⌄（または本体の ▽ △ CHANNEL）を押す

放送のない番号はスキップする（飛ばす）ように設定できます。（75 ページ）

❖ 工場出荷時には、VHF 放送の 1 から 12 チャンネルのみが表示され、それ以外のチャンネルはスキップするようになっています。1 から 12 チャンネル以外で放送のあるチャンネルを表示するには、自動または手動でのチャンネル設定が必要です。詳しくは、「チャンネルの設定」（72 ページ）をご覧ください。

ケーブルテレビのチャンネルを選ぶとき

（例：C40 チャンネル）

1 CATV ⑫を押す

2 つづけて ④ ⑩ を押す

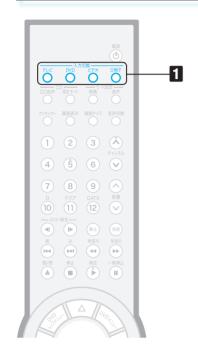
画面に C40 と表示され、C40 チャンネルに変わります。

本機では、C13 から C63 までのチャンネルが選べます。

注意 ケーブルテレビをご覧になるには、ケーブルテレビ会社との契約とケーブル工事などが必要です。

映像入力の操作

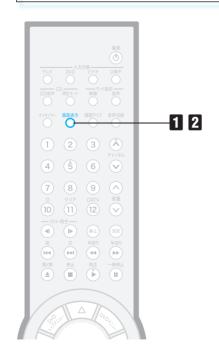
映像入力を切り換える
〈入力切換〉

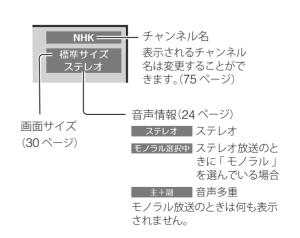
1 入力切換ボタン テレビ DVD ビデオ D端子（または本体の SOURCE）を押す

テレビ DVD ビデオ D端子を押したときは、それぞれの映像入力にかわります。

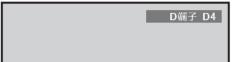
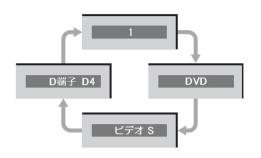
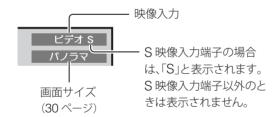
テレビ　通常のテレビを見ることができます。

DVD　DVD や CD を再生できます。

映像入力の情報を確認する〈画面表示〉

1 画面表示 を押す

そのときの映像入力（テレビ /DVD/ ビデオ /D 端子）と画面サイズ（30 ページ）などの情報が表示されます。
3 秒経過すると、映像入力以外の情報が消えます。

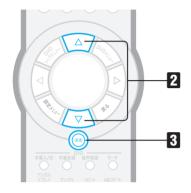
テレビのとき

ビデオ
◯ 本体後面のビデオ入力端子に接続した機器の映像を見ることができます。

D端子
◯ 本体後面の D 端子に接続した機器の映像を見ることができます。

❖ 本体の ◯(SOURCE) を押したときは、次の順序で映像入力がかわります。

ビデオのとき

D 端子のとき

2 もう一度 ◯(画面表示) を押す

情報表示が消えます。

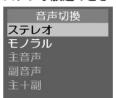
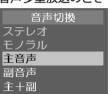
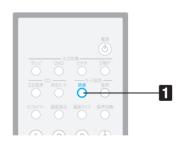
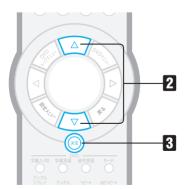
❖ DVD のときの表示については、46 ページをご覧ください。

❖ CD 音声のときの表示については、27 ページをご覧ください。

音声を切り換える
〈音声切換〉

注意 音声の切り換えは、映像入力がテレビのときのみ使えます。

1 音声切換 ◯ を押す

音声切換メニューが表示されます。
選択できる項目は、受信している放送の音声によって変わります。

ステレオ放送のとき

音声多重放送のとき

画質を切り換える
〈映像モード〉

注意 画面静止、消音、2 画面表示の機能中は、映像モードは選べません。

本機には、4 種類の画質設定が登録されています。
画質の設定は、設定メニューの映像メニュー（62 ページ）で変更することができます。

1 映像 ◯を押す

映像モードメニューが表示されます。

2 ▽ △（または本体の ▽ △ CHANNEL）を押して画質を選ぶ

画面表示が選んだ画質にかわります。

❖ 映像 ◯をつづけて押しても画質を選べます。

3 決定（または本体の ◯ ENTER）を押す

メニューが消えます。

標準	標準的な画質設定です。
ソフト	映画などのフィルム映像に適した設定です。
ダイナミック	メリハリのあるくっきりとした設定です。
お好み	映像入力ごとの設定です。

2 ▽ △（または本体の▽ △）を押して音声を選ぶ
CHANNEL

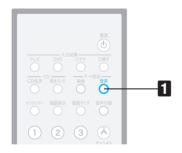
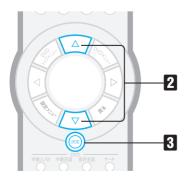
選んだ音声にかわります。

❖ 音声切換 ◯ をつづけて押しても音声を選べます。

3 決定（または本体の ◯ ）を押す
ENTER

メニューが消えます。

注意 画面静止、消音、2 画面表示、CD 音声の機能中は、音声は切り換えられません。

音質を切り換える〈音声モード〉

注意 画面静止、消音、2 画面表示、CD 音声の機能中は、音声モードは選べません。

本機には、4 種類の音質設定が登録されています。音質の設定は、設定メニューの音声メニュー（64 ページ）で変更することができます。

1 音声 ◯ を押す

音声モードメニューが表示されます。

2 ▽ △（または本体の▽ △）を押して音質を選ぶ
CHANNEL

音が選んだ音質にかわります。

❖ 音声 ◯ をつづけて押しても音質を選べます。

3 決定（または本体の ◯ ）を押す
ENTER

メニューが消えます。

標準	標準的な音質設定です。
ドラマ	ニュースやドラマなどの人の声が聞こえやすくなるような設定です。
音楽	低音から高音までバランスよく聞こえるような設定です。
映画	迫力ある低音を再生し、かつ人の声が聞こえやすくなるような設定です。

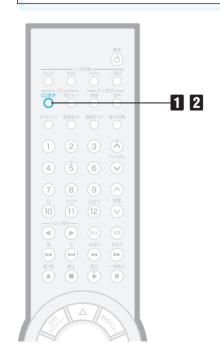
音声を消す〈消音〉

1 (消音)を押す

音声が消えます。

もう一度(消音)を押すと、音声が出ます。

❖ (音量∧)(または本体の(▷))を押して音量を上げても音声が出ます。

テレビやビデオを見ながらCDを聞く〈CD音声〉

注意 CD音声は、DVDプレーヤーにdisc COMPACT DIGITAL AUDIO表記（38ページ）のある音楽用CDがセットされているときにのみ使えます。

CDのセットや操作については、「DVDの操作」（40ページ）をご覧ください。

1 CDをセットして (CD音声) を押す

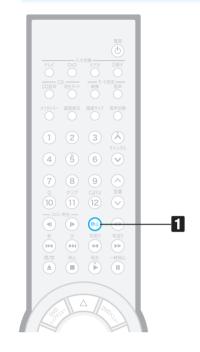
画面はそのときの映像入力のままで、スピーカーからはCDの曲が流れます。

CD音声の機能中は、本体の電源ランプがオレンジ色に点灯します。

❖ CD音声の機能中に映像入力を切り換えると、音声はCDのまま画面表示だけがかわります。

❖ CD音声の機能中に映像入力をDVDに切り換えると、画面が消えます。CDを聞くだけの場合は、この機能を使うと電力消費を抑えることができます。

画面を静止する〈静止〉

1 (静止)を押す

(静止)を押した場面で画面が静止します。
静止中は、画面に次のように表示されます。

静止

もう一度(静止)を押すと、通常の画面に戻ります。

❖ 映像入力を切り換えたり、チャンネルを切り換えたり（映像入力がテレビのとき）したときも通常の画面に戻ります。

注意 2 画面表示の機能中は、画面の静止はできません。

2 もう一度 (CD音声) を押す

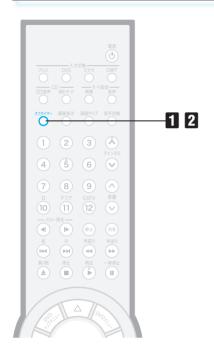
CD 音声が解除されます。

❖ 電源を切ったり、ディスクトレイを開いたりしたときも、CD 音声が解除されます。

注意 • CD 音声の機能中は、リモコンの数字ボタンを使った CD 操作はできません。
• 消音、2 画面表示の機能中は、CD 音声は使えません。

CD 音声時の画面表示について

CD 音声の機能中に (画面表示) を押すと、そのときの映像入力の情報とトラック番号や経過時間などの CD の情報（47 ページ）が表示されます。
もう一度 (画面表示) を押すと、情報表示が消えます。

電源を自動的に切る
〈オフタイマー〉

オフタイマーは、一定の時間が経つと自動的に本機の電源を切る機能です。

1 オフタイマー ◯ **を押す**

次のように表示されます。

2 「オフタイマーオフ」の表示中に オフタイマー ◯ を押す

オフタイマー時間が 3 秒間表示されます。表示が消えるとオフタイマーが設定され、その時間が経つと自動的に電源が切れます。

オフタイマー 30分

残り時間を確認するには

オフタイマーを設定したあとに オフタイマー ◯ を押す

電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

オフタイマー　5分

❖ 残り時間は、秒を切り捨てた 分単位で表示されます。

オフタイマー時間を延長するには

残り時間の表示中に オフタイマー ◯ を押す

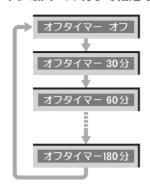
オフタイマー ◯ を押すたびに 30 分刻みで時間が延長されます。

オフタイマー　5分 → オフタイマー ◯ → オフタイマー 30分

オフタイマー時間の選び方

オフタイマー ◯ を押すたびに、30 分刻みでオフタイマー時間が変わります。最大 180 分まで指定できます。

❖ 電源が切れる 3 分前になると、次のように表示されます。

30 秒前になると、この表示が点滅します。

オフタイマーを解除するには

［オフタイマーオフ］が表示されるまで オフタイマー ◯ を押す

［オフタイマーオフ］を選ぶと、オフタイマーは解除されます。

このほかの電源オフ機能

本機ではオフタイマー機能以外に、次のような電源を自動的に切る機能が使えます。

無放送電源オフ
映像入力がテレビのときに、テレビの放送がない（信号がない）状態が 10 分つづくと、自動的に電源を切ります。（CD 音声の機能中は、テレビの放送がない状態でも電源オフしません）

無信号電源オフ
映像入力が DVD、ビデオまたは D 端子のときに、ビデオ信号の入力がない状態が 10 分つづくと、自動的に電源を切ります。（CD 音声の機能中は、ビデオ信号の入力がない状態でも電源オフしません）
また、CD 音声の機能中は、映像入力が DVD の場合のみ再生が終了して CD が停止した状態が 10 分つづくと、自動的に電源を切ります。

無操作電源オフ
リモコンや本体でのボタン操作がない状態が 3 時間つづくと、自動的に電源を切ります。

これらの機能は、設定メニューの省電力メニューで、それぞれの項目を［オン］に設定すると使えるようになります。（66 ページ）

画面サイズの変更

画面サイズを切り換える〈画面サイズ〉

1 画面サイズ ◯ を押す

画面サイズメニューが表示されます。

この部分には、初期設定メニューの[入力別詳細設定]の[画面サイズ切換]の設定(69 ページ)が表示されます。

2 ▽ △(または本体の CHANNEL ▽ △)を押して画面サイズを選ぶ

画面のサイズがかわります。

❖ 画面サイズ ◯ をつづけて押しても画面サイズを選べます。

3 決定(または本体の ENTER ◯)を押す

メニューが消えます。

注意 画面静止、消音、2 画面表示の機能中は、画面サイズは切り換えられません。

画面サイズを自動で切り換えるには

設定メニューの初期設定メニューの［入力別詳細設定］で、［画面サイズ切換］を［自動 1（信号判別）］または［自動 2（映像判別）］に設定すると、自動的に映像の種類に合わせてサイズがかわります。

［自動 1（信号判別）］は、入力された信号のアスペクト情報のみを判別して、自動的に画面サイズ（フルサイズ、標準サイズ、パノラマ、ワイド）を切り換えます。
［自動 2（映像判別）］は、アスペクト情報に加えて、上下の帯や字幕などによって変わる映像の表示領域を判別し、自動的に画面サイズ（フルサイズ、標準サイズ、パノラマ、ワイド、字幕ワイド、パノラマズーム）を切り換えます。詳しくは 70 ページをご覧ください。

❖ 設定のしかたは 69 ページをご覧ください。

❖ ［自動］に設定していても、画面サイズメニューでサイズを変更することができます。ただし、種類の違う映像が入力されたときには、自動的にその種類に合ったサイズに切り換えます。
また、次の場合には画面サイズメニューで変更した内容が失われます。

- 変更したサイズで信号が入力されない状態が 5 秒以上つづいたとき
- 電源を切ったとき
- 映像入力が DVD の場合にディスクトレイを開いたとき

画面サイズの種類

画面サイズの種類と見えかたは次のとおりです。映像の種類に合わせて最適なサイズを選んでください。

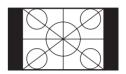
映像の種類

A：通常の 4：3 サイズ

B: 16：9 サイズ

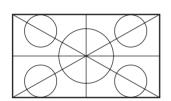
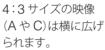
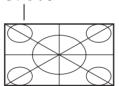
C:16：9 サイズの映像を、縦横比を保ったまま 4：3 サイズに収めたもの（レターボックス）

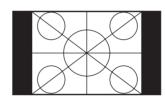
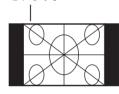
※上下に黒帯が表示されます。

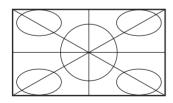
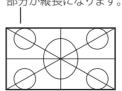
D:4：3 サイズの映像を、縦横比を保ったまま 16：9 サイズに収めたもの（16：9 主画面 4：3）

※左右に黒帯が表示されます。

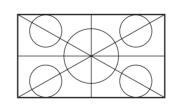
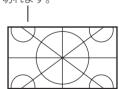
フルサイズ

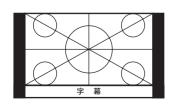
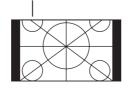
画面いっぱいに表示します。
B や D の映像が正しく表示されます。

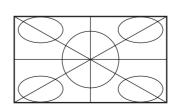
4：3 サイズの映像（A や C）は横に広げられます。

標準サイズ

4：3 の画面で表示します。（画面の左右に黒帯が表示されます）

16：9 サイズの映像（B や D）は横に圧縮されます。

パノラマ

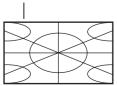
4：3 サイズの映像を、中央部分の縦横比をできるだけ保ったまま画面いっぱいに表示します。左右に行くほど横に広げられます。

16：9 サイズの映像（B や D）は逆に中央部分が縦長になります。

ワイド

C の映像にあるような上下の黒帯部分をカットして、映像を画面いっぱいに表示します。

C 以外の映像は上下が切れます。

字幕ワイド

B の字幕つきの映像を、上の部分をカットして字幕部分が残るように画面いっぱいに表示します。映像によっては、左右に黒帯が残ります。

B 以外の映像は上の部分が切れます。

パノラマズーム

D の映像が画面いっぱいになるよう拡大します。パノラマと同じで、中央部分の縦横比はできるだけ保ったままで左右に行くほど横に広げられます。

D 以外の映像は左右が切れます。

2 画面表示にする
〈2 画面〉

1 表示◯を押す

2 画面表示になります。
表示◯を押したときに選んでいた映像入力が主画面、前回 2 画面で表示していた映像入力が副画面として表示されます。
音声は主画面のものが出力されます。

もう一度 表示◯ を押すと、主画面側の映像入力で 1 画面に戻ります。

注意 消音、CD 音声の機能中は、2 画面表示できません。

操作する映像入力を選ぶには

1 画面選択◯ を押す

画面にアイコン（◀または▶）が表示されます。
これは、アイコンが表示されている側の画面の映像入力に対して操作できることを表します。

2 アイコンの表示中にもう一度 画面選択◯ を押す

アイコン（◀または▶）が反対側の画面に表示されます。
反対側の画面の映像入力に対して操作できるようになります。

出力する音声を選ぶには

音声選択◯ を押す

音声選択◯ を押したときに音声が出力されていた画面の反対側の画面の音声にかわります。
音声が出力されている画面の方にアイコン（♪）が表示されます。

主画面と副画面を入れ換えるには

入換◯を押す

主画面と副画面が入れかわります。
同時に操作できる映像入力と出力される音声も入れかわります。

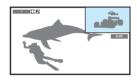
2画面表示のバリエーション

2画面表示には、次のようにPsidePとPinPの2種類があります。

PsideP

主画面の右側に副画面が表示されます。

PinP

主画面中の4隅のどこかに副画面が表示されます。

表示を押したときにPsidePとPinPのどちらで表示されるかや副画面の大きさ（大：1/2サイズ、中：1/3サイズ、小：1/6サイズ）、副画面の位置は、設定メニューの2画面メニュー（66ページ）で設定します。

注意 次の映像入力の組み合わせでは、2画面表示できません。

- テレビとビデオ
- DVDとD端子
- 同じ映像入力

2画面表示中の映像入力の切り換えについて

2画面表示中に映像入力の切り換え操作をおこなった場合、組み合わせ可能な映像入力を選んだときは、操作中の画面がその映像入力にかわります。
組み合わせ不可能な映像入力を選んだときは、確認メッセージが表示されます。メッセージは2画面表示している映像入力の組み合わせによって異なります。

例

テレビ（主画面）とDVD（副画面）での2画面表示中に、テレビをDVDに切り換えようとすると、同じ映像入力（DVDとDVD）での2画面表示は不可能なため､「副画面が「テレビ」に切り換わります」というメッセージが表示されます。

ここで決定を押すと操作中の画面がDVDに、もう一方の画面がテレビにかわります。

本体操作をロックする

本体のボタンでの操作をできないようにすることができます。ただし、リモコンのボタン操作をロックすることはできません。

本体操作をロックするには

1 主電源スイッチを押して主電源を切る

2 本体の POWER を押しながら主電源スイッチを押す

電源が入り、本体の操作ボタンがロックされます。

❖ ロックがかかったとき、またはロック中に本体の操作ボタンを押したときは、次のように表示されます。

操作ロックがかかっています

ロックを解除するには

1 主電源スイッチを押して主電源を切る

2 もう一度本体の POWER を押しながら主電源スイッチを押す

電源が入り、ロックが解除されます。

画面の明るさを自動的に調整する

周囲の明るさの変化に合わせて、画面の明るさを自動で調整することができます。
明るさの変化は、本体正面の明るさセンサーで監視します。

この機能は、設定メニューの省電力メニューの［明るさ自動調整］で設定します。
設定のしかたは 67 ページをご覧ください。

Chapter3

DVDの操作

この章では、内蔵 DVD プレーヤーの操作について説明しています。

DVD プレーヤーでは、DVD と CD の再生ができます。
次のマークは、説明している機能が DVD と CD のどちらについてのものなのかを表しています。

DVD DVD で使える機能

CD CD で使える機能

DVD 使用上の注意

ディスクの取り扱い

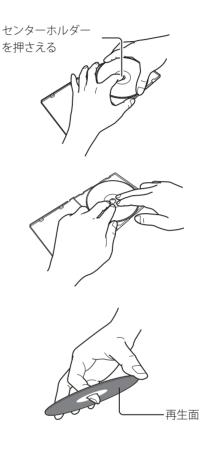
ケースからの取り出しかた

センターホルダーを押さえて、再生面に触れないように取り出します。

ケースへの入れかた

印刷名を上にして、上から押さえてセンターホルダーにはめ込みます。

ディスクの持ちかた

中心の穴や縁を持ち、再生面に触れないようにします。

ディスクについてのご注意

- 紙やシールを貼らないでください。
  また、セロハンテープが貼られたディスクやレンタル CD などでラベルの糊がはみ出したディスク、シールをはがしたあとのあるディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、DVD プレーヤーの故障の原因となることがあります。
- ハート形や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。DVD プレーヤーの故障の原因となることがあります。

- 次のロゴマークのついた DVD、CD を使用してください。

ロゴマークについては、38 ページをご覧ください。

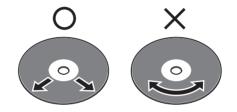
- ディスクに、傷や指紋、ほこりなどがついていると、再生できないことがあります。
- 再生中、ラジオに雑音が入る場合は、本機とラジオを離して設置してください。

ディスクの保管とお手入れ

ディスクの保管について

- 必ずケースに入れて保管してください。
- 直射日光の当たる場所や温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。

お手入れのしかた

ディスクに指紋やほこりなどの汚れがついていると、画像のみだれや音質の低下の原因となります。
指紋や汚れがついた場合は、柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。

シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

- 市販の CD スタビライザーは使用できません。
- 本機に強い衝撃を与えたときは、音飛びを起こすことがありますのでご注意ください。
- ディスクの内容によっては、音飛びを起こすことがあります。その場合は、音量を下げてお聞きください。

コピーガード付き CD の再生について

CD 規格に準拠しない「コピーガード付き CD」などのディスクにつきましては、CD 再生機器における再生の保証はいたしかねます。CD を再生する際には、「CD ロゴマーク」の有無やパッケージの注意文をよくお読みになり、CD 規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

なお、CD 規格に準拠しないディスクの再生時に支障がある場合、詳細につきましてはディスクの発売元にお問い合わせいただきますようお願い申しあげます。

ディスクについて

再生できるディスク

DVD プレーヤーでは、次のディスクを再生することができます。

ディスクの種類	ロゴマーク	記録内容	ディスクの大きさ
DVD ビデオ（リージョン番号 2）	DVD VIDEO リージョン番号 2 または ALL	音声＋映像	12cm
			8cm
音楽用 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm
			8cm（CD シングル）

使用できないディスク

本機では、次のディスクは再生できません。

- リージョン番号「2」「All」以外の DVD
- PAL 方式、SECAM 方式の DVD
- MP3、WMA フォーマットで記録した CD-R/RW
- フォト CD
- ビデオ CD

❖ CD-R/RW では、音楽 CD フォーマットで記録されたもののみ再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないものがあります。

❖ DVD-R では、DVD ビデオフォーマットで記録されたもののみ再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないものがあります。

DVDのマーク表示について

DVD のディスクやパッケージに表示されているマークには、次のようなものがあります。

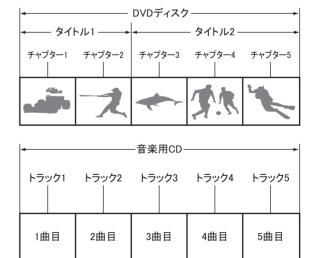
マーク	意味
3)))	音声のトラック数を表します。 例えば、数字が「3」の場合では、3 種類の音声(英語 / スペイン語 / 日本語など)が記録されています。
2	字幕の数を表します。 例えば、数字が「2」の場合では、2 種類の字幕(英語 / 日本語など)が記録されています。
3	アングル数を表します。 DVD では、異なる角度(アングル)で撮影された複数のシーンを再生中に切り換えることのできるソフトがあります。
	記録されている映像の画面サイズ(縦横比)を表します。 本機の画面サイズについては、31 ページをご覧ください。
4:3	4:3 の画面サイズで記録されています。
16:9 LB	16:9 の画面サイズで記録されています。
2 / 1 2 3	リージョン番号(再生可能地域番号)を表します。 本機では、リージョン番号「2」または「All」のディスクが再生できます。図のように「2」を含んだものも再生できます。

タイトル、チャプター、トラックについて

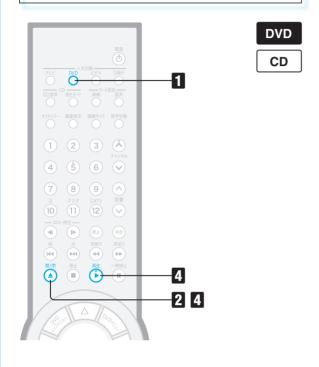
DVD

DVD は、「タイトル」という大きな区切りと「チャプター」という小さな区切りに分かれています。

CD

音楽用 CD は、「トラック」で区切られています。

タイトルやチャプター、トラックには、それぞれ順に番号がふられています。これらの番号を、「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。(ディスクによっては番号が記録されていないものもあります)

ディスクをセットする

DVD
CD

1 DVD ◯（または本体の SOURCE ◯）を押して映像入力を DVD にする

2 開/閉 ⏏（または本体の STOP/EJECT ⏏）を押してディスクトレイを開く

•注意 ディスクトレイを手で引き出したり、強く押したりしないでください。トレイの破損や故障の原因となります。

ディスクを取り出す

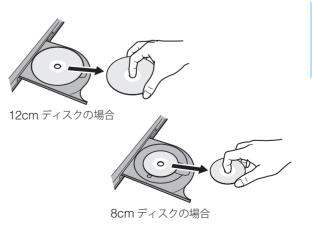
DVD
CD

1 停止状態のときに 開/閉 ⏏（または本体の STOP/EJECT ⏏）を押す

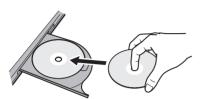
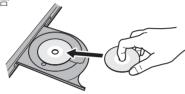
ディスクトレイが開きます。

2 ディスクを取り出す

ディスクトレイが完全に開いてから取り出してください。

12cm ディスクの場合

8cm ディスクの場合

3 ディスクをディスクトレイに置く

再生面を下にして、ディスクトレイの溝に合わせて正しく置いてください。

12cm ディスクの場合

8cm ディスクの場合

注意
- ディスクは、サイズに合った溝に合わせて置いてください。溝からずれていると、ディスクが傷ついたり、故障の原因となったりします。
- ディスク以外のものをディスクトレイに置かないでください。故障の原因となります。

4 開/閉(▲)か再生(▶)(または本体の STOP/EJECT か PLAY)を押す

ディスクトレイが閉じます。

❖ 再生(▶)(または本体の PLAY)を押したときは、自動的に再生が始まります。

❖ 自動再生ディスク(DVD)の場合は、開/閉(▲)(または本体の STOP/EJECT)を押したときでも、ディスクトレイが閉じると自動的に再生が始まります。

3 開/閉(▲)(または本体の STOP/EJECT)を押す

ディスクトレイが閉じます。

注意 ディスクトレイを手で引き出したり、強く押したりしないでください。トレイの破損や故障の原因となります。

ディスクトレイのロック

リモコンや本体のボタンを押しても、ディスクトレイが開かないようにすることができます。

ディスクトレイが開いているときに、本体の STOP/EJECT を 3 秒間押しつづける

ディスクトレイが閉じ、ロックされます。
ロックがかかったとき、またはロック中に開/閉(▲)を押したときは次のように表示されます。

トレイロックがかかっています

もう一度 STOP/EJECT を 3 秒間押しつづけると、ロックが解除されます。

DVDの操作

再生する

DVD

CD

1 ディスクをセットした状態で 再生（▶）（または本体の PLAY（▷））を押す

画面に次のように表示され、再生が始まります。

リーディング

DVD のとき

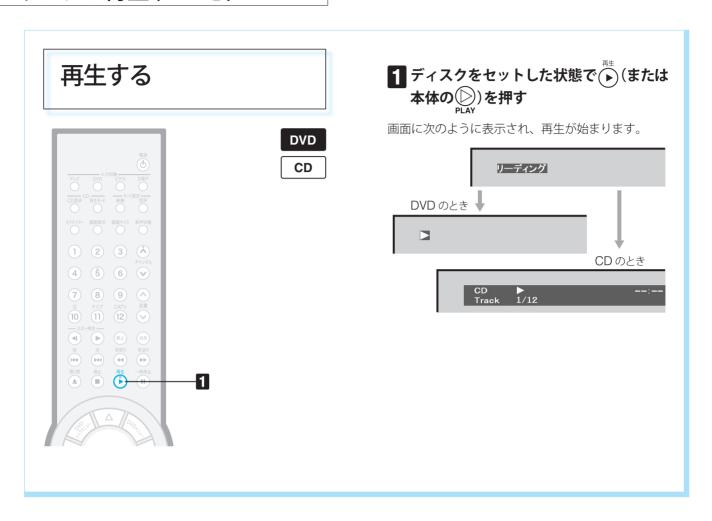
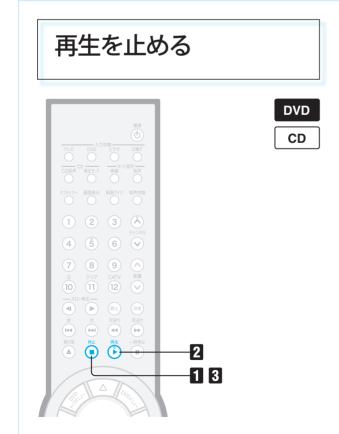
▶

CD のとき

CD ▶ --:--
Track 1/12

再生を止める

DVD

CD

DVD のとき

1 停止（■）（または本体の STOP/EJECT）を押す

再生中に停止（■）を 1 回押すと、画面に「 レジューム■ 」と表示され、停止状態になります。

この状態では、レジューム機能が働いています。レジューム機能とは、停止した位置を記憶し、次に再生するときにはその位置から再生を開始する機能です。

❖ ディスクによっては、レジューム機能が使えないものもあります。

❖「レジューム■」と表示されないときは、レジューム機能は使えません。

早送り、早戻しする

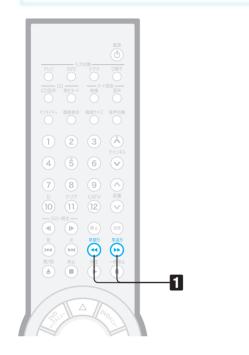
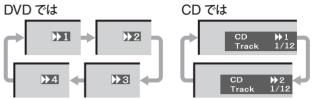
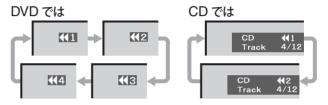
DVD

CD

1 早送り(▶▶)または早戻り(◀◀)を押す

押すたびに速さが変わります。

早送り(▶▶)を押すと

早戻り(◀◀)を押すと

再生(▶)を押すと通常の再生に戻ります。

❖ ディスクによっては、早送り、早戻しを自動で解除するものがあります。

続きから再生するには

2 再生(▶)(または本体の PLAY)を押す

停止したところから再生が始まります。

❖ ディスクトレイを開くと、レジューム再生の記録は消えてしまいます。

レジューム状態から完全に停止させるには

3 もう一度停止(■)(または本体の STOP/EJECT)を押すか、ディスクを取り出す

次に再生するときは、ディスクの最初から再生が始まります。

CD のとき

1 停止(■)(または本体の STOP/EJECT)を押す

再生が停止します。

再生(▶)(または本体の PLAY)を押すと、ディスクの最初から再生が始まります。

❖ CD はレジューム再生できません。

DVDの操作

一時停止する

DVD
CD

1 再生中に（一時停止）を押す

DVD の場合は映像が静止します。
CD の場合は再生が一時停止します。

（再生）を押すと通常の再生に戻ります。

❖ ディスクによっては、一時停止が禁止されている場合があります。
❖ 一時停止中には音声は出ません。

スローモーションにする

DVD

1 または を押す

押すたびに速さが変わります。

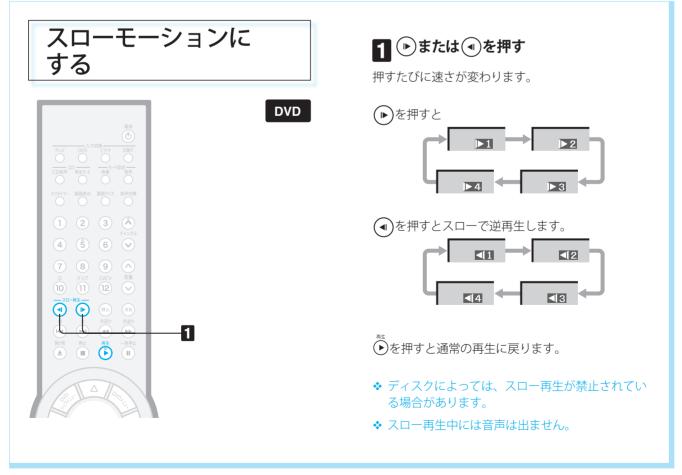
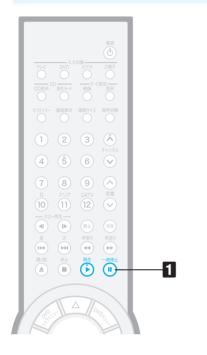
を押すと

を押すとスローで逆再生します。

（再生）を押すと通常の再生に戻ります。

❖ ディスクによっては、スロー再生が禁止されている場合があります。
❖ スロー再生中には音声は出ません。

コマ送りする

DVD

1 一時停止中に（一時停止）を押す

押すたびに、DVD の映像が 1 コマずつコマ送りされます。

（再生）を押すと通常の再生に戻ります。

❖ ディスクによっては、コマ送りが禁止されている場合があります。

❖ コマ送り中には音声は出ません。

チャプターやトラックを頭出しする

DVD

CD

1 再生中に（次）を押す

次のチャプター（DVD）またはトラック（CD）の頭から再生します。

2 再生中に（前）を押す

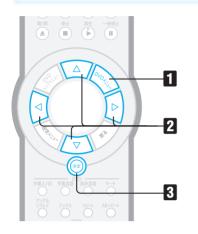
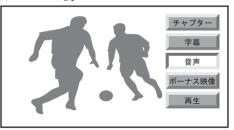
再生中のチャプター（DVD）またはトラック（CD）の頭から再生します。

つづけて（前）を押すと、ひとつ前のチャプターやトラックの先頭に飛びます。

❖ ディスクによっては、頭出しが禁止されている場合があります。

メニューの操作

DVDメニューを使う

DVD

DVD メニューの例

1 DVD の再生中に（DVDメニュー）を押す

DVD メニューが表示されます。

2 ▽△◁▷を押して項目を選ぶ

ディスクによっては、数字を指定して選べるものもあります。

3 （決定）を押す

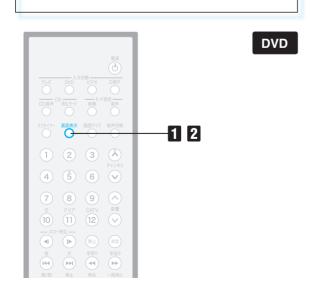
選んだ項目が実行されたり、次のメニューに移ったりします。
手順 2、3 を繰り返してメニューを操作します。

❖ DVD メニューが複数の言語で記録されている場合は、表示言語を選ぶことができます。（78 ページ）

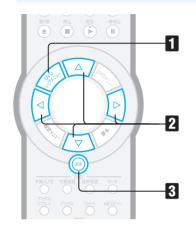
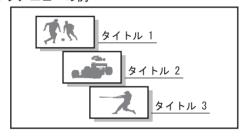
ディスク情報の表示

情報を表示させる

DVD

1 DVD の再生中に（画面表示）を押す

次のように表示されます。

例

トップメニューを使う

トップメニューの例

1 DVDトップメニューを押す

トップメニューが表示されます。

2 ▽△◁▷を押してタイトルを選ぶ

ディスクによっては、数字を指定して選べるものもあります。

3 決定を押す

選んだタイトルの再生が始まります。

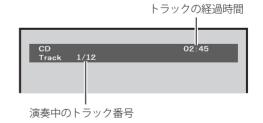
- ❖ メニューの記録されていないディスクもあります。
- ❖ メニューの操作をしてから動作が始まるまでに、数秒かかる場合があります。
- ❖ ディスクによっては、DVD メニューやトップメニューのことを別の呼び方で表示しているものもあります。また、「決定ボタンを押す」を「選択ボタンを押す」などと表示しているものもあります。
- ❖ ディスクによっては、メニューを選べないようにしているものもあります。

2 もう一度 画面表示 を押す

情報表示が消えます。

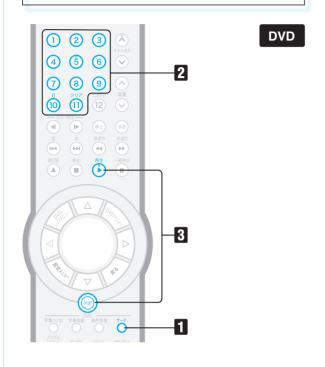
CD 再生中の画面表示

CD の再生中には、次のような情報が常に表示されます。

例

- ❖ この表示は消すことができません。
- ❖ CD 音声のときの表示については、27 ページをご覧ください。

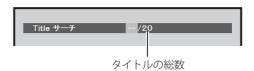
再生位置の指定

タイトル番号を探す

DVD

タイトル番号を入力して、そこから再生させせます。

1 サーチ◯を 1 度押す

タイトルの総数が表示されます。

例

2 希望のタイトル番号を入力する

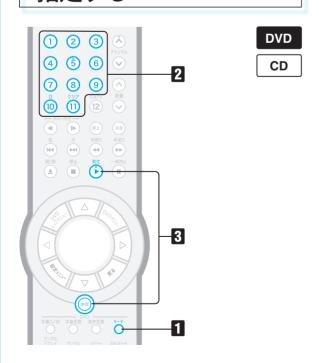
例：タイトル番号 14 の場合、①、④を押します。
訂正する場合はクリア⑪を押します。

3 決定または再生▶を押す

選んだタイトルから再生が始まります。

再生開始時間を指定する

DVD

CD

時間（時 / 分 / 秒）を入力して、そこから再生させせます。

1 DVD の場合、再生中にサーチ◯を 3 度押す
CD の場合、再生中にサーチ◯を 1 度押す

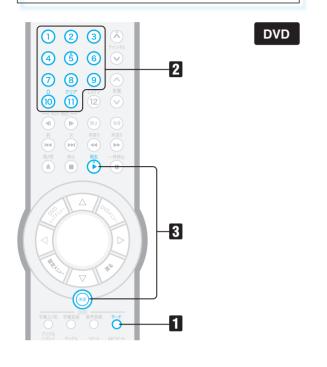
2 再生したい時間を入力する

例：15 分 40 秒から再生する場合、①⑤④⑩を押します。
訂正する場合はクリア⑪を押します。

3 決定または再生▶を押す

指定した時間から再生が始まります。

チャプター番号を探す

DVD

チャプター番号を入力して、そこから再生させます。

1 再生中に〇（サーチ）を2度押す

チャプターの総数が表示されます。

例

チャプターの総数

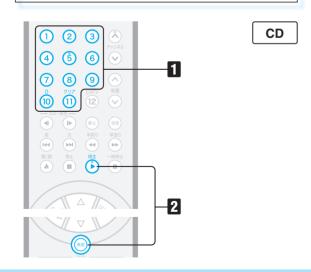
2 希望のチャプター番号を入力する

例：チャプター番号10の場合、①⑩を押します。
訂正する場合は⑪（クリア）を押します。

3 （決定）または（再生）を押す

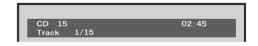
選んだチャプターから再生が始まります。

トラック番号を探す

CD

トラック番号を入力して、そこから再生させます。

1 希望のトラック番号を入力する

例：トラック番号15の場合、①⑤を押します。
訂正する場合は⑪（クリア）を押します。

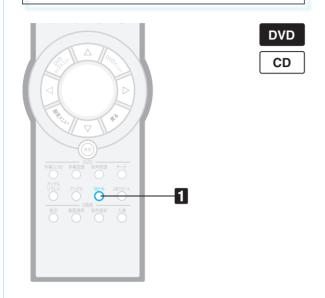
CD 15 02:45
Track 1/15

2 （決定）または（再生）を押す

選んだトラックから再生が始まります。

- 操作を途中で中止するときは、表示が消えるまで〇（サーチ）を押します。
- 選べない番号や時間を入力すると、⃠が表示されます。
- ディスクによっては、再生位置の指定が禁止されているものもあります。
- ディスクによっては、〇（サーチ）を押す回数が異なる場合があります。その場合は、画面の表示で確認してください。

再生順の変更

繰り返し再生する

DVD
CD

❖ DVD によっては、繰り返し再生ができない場合があります。

❖ 本機の電源を切ったり、ディスクトレイを開いたりすると、繰り返し再生は取り消されます。

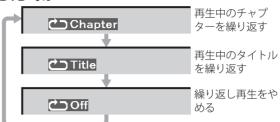
1 再生中に リピート を押し、繰り返しの範囲を選ぶ

リピート を押すたびに繰り返しの範囲が変わります。

DVD では

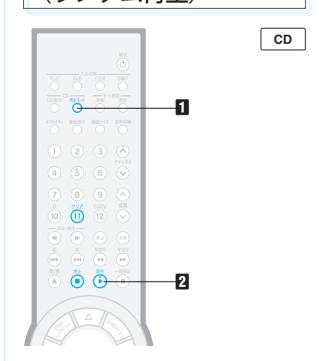
再生中のチャプターを繰り返す
再生中のタイトルを繰り返す
繰り返し再生をやめる

CD では

再生中のトラックを繰り返す
ディスク全体を繰り返す
繰り返し再生をやめる

繰り返し再生をやめると、通常の再生に戻ります。

順不同に再生する（ランダム再生）

CD

1 停止状態で 再生モード を押す

Random再生

2 再生 ▶ を押す

自動的に曲順が変更され、順不同（ランダム）に再生されます。

クリア ⑪を押すと通常の再生に戻ります。

停止 ■を押すと停止します。

❖ すべての曲が再生されると停止します。

注意 CD 音声の機能中は、再生モードは選べません。

一部分を繰り返し再生する（ABリピート）

DVD

CD

1 再生中に、繰り返し再生したい部分の始点で ABリピート ◯ を押す

2 繰り返し再生したい部分の終点でもう一度 ABリピート ◯ を押す

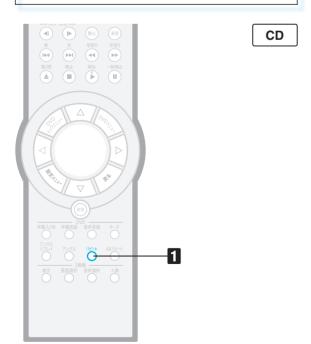
自動的に 1 で指定した始点に戻り、そこから終点までを繰り返し再生します。

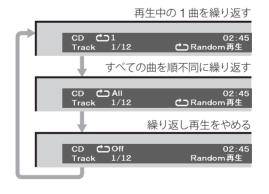
さらに ABリピート ◯ を押すと通常の再生に戻ります。

❖ AB リピートは 1 か所のみ設定できます。

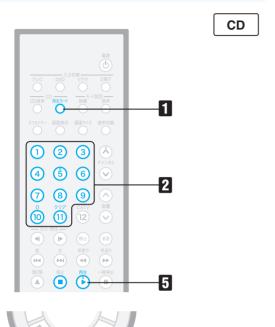
注意 繰り返し再生の操作中に⃠が表示されたときは、ディスクまたは本機がこの操作を禁止しています。

順不同に繰り返し再生する

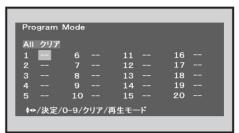
CD

1 ランダム再生中に リピート ◯ を押し、繰り返しの範囲を選ぶ

リピート ◯ を押すたびに繰り返しの範囲が変わります。

繰り返し再生をやめると、通常のランダム再生に戻ります。

好きな順に再生する（プログラム再生）

CD

トラックの再生順を設定することができます。設定できるトラックの数は、最大 20 個までです。

1 停止状態で 再生モード ◯ を 2 度押す

プログラム画面が表示されます。

注意 CD 音声の機能中は、プログラム再生は使えません。

プログラム再生を停止したあとの再生

プログラム再生を再開するには

再生モード ◯ を 2 度押してプログラム画面を表示させ、再生 ▶ を押す

通常の再生をするには

再生 ▶ を押す

プログラムの消去

プログラムをすべて消すには

1 再生モード ◯ を 2 度押してプログラム画面を表示させる

2 △を押して［All クリア］を選ぶ

3 決定を押す

設定がすべて消去されます。

4 再生モード ◯ を 1 度押してプログラム画面を消す

設定しているトラックを個別に消すには

1 再生モード ◯ を 2 度押してプログラム画面を表示させる

2 ▽△◁▷を押して消したいトラック番号を選ぶ

3 クリア ⑪を押す

選んだトラック消去され、それ以降のトラックの順番が繰り上がります。

4 手順 2、3 を必要なだけ繰り返す

5 再生モード ◯ を 1 度押してプログラム画面を消す

2 1 曲目のトラック番号を入力する

例：トラック番号 05 の場合、(0/10)(5)を押します。

3 (▽)を押す

2 曲目を入力できます。

4 手順 2、3 を繰り返して、再生したい順にトラック番号を入力する

プログラム設定を中止するには、(再生モード)を 1 度押します。

5 プログラム画面を表示したまま(再生)を押す

入力した順に再生が始まります。

(クリア/11)を押すとプログラムが消去され、通常の再生に戻ります。
(停止)を押すと、プログラムを記録したまま停止します。

❖ 設定した曲がすべて再生されると停止します。
❖ プログラム再生の設定は、ディスクトレイを開かない限り記録しています。

プログラムの設定を変更する

1 (再生モード)を 2 度押してプログラム画面を表示させる

2 (▽)(△)(◁)(▷)を押して変更したいトラック番号を選ぶ

3 新しいトラック番号を入力する

4 手順 2、3 を必要なだけ繰り返す

5 (再生)を押す

新しい設定でプログラム再生が始まります。

プログラム再生中に繰り返し再生する

プログラム再生中にリモコンの(リピート)を押し、繰り返しの範囲を選ぶ

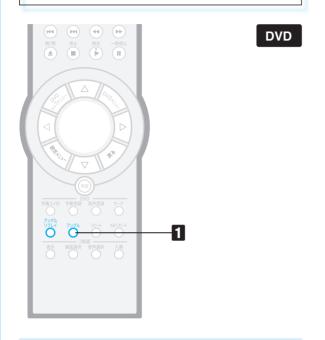
(リピート)を押すたびに繰り返しの範囲が変わります。

繰り返し再生をやめると、通常のプログラム再生に戻ります。

DVDの操作

再生中の切り換え操作

アングルを切り換える

DVD

•注意 操作中に⃠が表示されたときは、ディスクまたは本機がこの操作を禁止しています。

複数のアングル（マルチアングル）が記録されたDVDでは、再生中にアングルを切り換えることができます。

1 再生中に（アングル）を押す

押すたびにアングルがかわります。

例

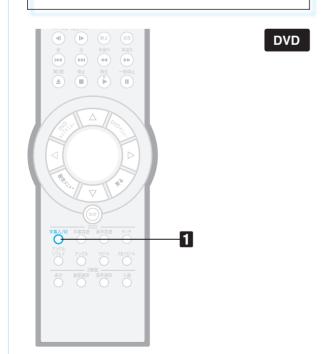
別のアングルで繰り返し再生する

再生中に（アングル リプレイ）を押す

約10秒前の場面に戻り、次のアングルで再生が始まります。押すたびにアングルがかわります。

- ❖ アングルが切り換えられるのは、マルチアングルで記録された映像を再生しているときのみです。
- ❖ 一時停止中にもアングル切り換えの操作ができます。ただし、アングルがかわるのは再生が始まってからです。

字幕表示を入/切する

DVD

字幕が記録されたDVDでは、再生中の画面に字幕を表示することができます。

1 再生中または一時停止中に（字幕入/切）を押す

押すたびに字幕の表示が入/切されます。

例

- ❖ 字幕が表示できるのは、字幕が記録されたディスクのみです。
- ❖ ディスクによっては、字幕表示を禁止しているものがあります。
- ❖ ディスクによっては、字幕を消すことを禁止しているものがあります。
- ❖ ディスクによっては、DVDメニューで字幕を設定できるものがあります。

音声言語を切り換える

DVD

複数の言語で音声が記録されたDVDでは、音声の言語を切り換えることができます。

1 再生中または一時停止中に 音声言語 を押す

押すたびに言語がかわります。

例

1/2 ja

現在選択している言語

❖ 音声が切り換えられるのは、複数の音声言語で記録されたディスクのみです。

❖ ディスクによっては、複数の言語が記録されていても、切り換えを禁止しているものがあります。

❖ 再生される音声言語は、DVD初期設定メニューで設定することができます。（78ページ）

❖ 本機の電源を切ったり、ディスクを交換したりすると、DVD初期設定メニューで設定されている音声言語に戻ります。

字幕言語を切り換える

DVD

複数の言語の字幕が記録されたDVDでは、字幕の言語を切り換えることができます。

1 再生中または一時停止中に 字幕言語 を押す

現在の字幕の情報が表示されます。

例

1/2 ja

現在選択している言語

2 字幕言語 を押して言語を選ぶ

押すたびに言語がかわります。

❖ ディスクによっては、複数の字幕が記録されていても、切り換えを禁止しているものがあります。

❖ 表示される字幕言語は、DVD初期設定メニューで設定することができます。（78ページ）

❖ 本機の電源を切ったり、ディスクを交換したりすると、DVD初期設定メニューで設定されている字幕言語に戻ります。

DVD 初期設定メニューについて

本機には、DVD 再生についての設定をする「DVD 初期設定メニュー」が用意されています。
DVD 初期設定メニューでは、次のような項目が設定できます。

- **言語設定**
  音声や字幕、画面表示の言語を設定します。
- **デジタル出力設定**
  本機の光デジタル音声出力端子に接続したオーディオ機器に合わせた設定をします。
- **パレンタル設定**
  視聴年齢の制限を設定します。

DVD 初期設定メニューの設定のしかたは、76 ページをご覧ください。

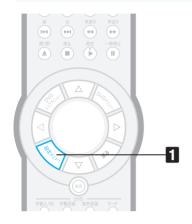
Chapter4

調整と設定

この章では、本機に搭載されている設定メニューの操作方法と、各設定項目について説明しています。
設定メニューでは、画質や音声、画面表示、チャンネルなどの調整や、DVD プレーヤーに関する設定をおこなうことができます。

❖ 画面静止、消音、2 画面表示の機能中は、設定メニューは操作できません。

設定メニューの操作

設定メニューを呼び出す

1 [設定メニュー]を押す

設定メニューが表示されます。

設定メニューの表示中に[設定メニュー]を押すと、設定メニューが終了します。

設定メニューの構成と操作のしかたは、次のようになっています。

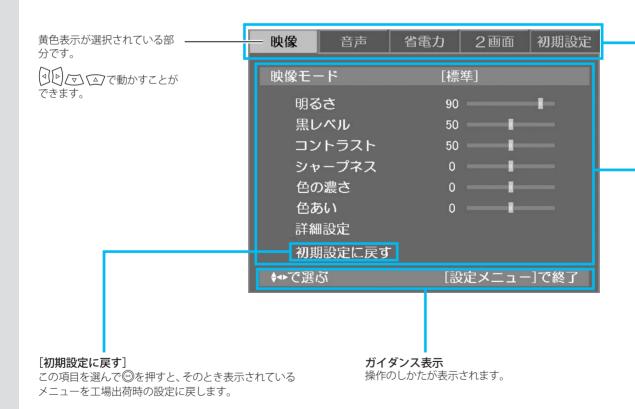
設定メニューの基本操作

黄色表示が選択されている部分です。

[◁][▷][▽][△]で動かすことができます。

[初期設定に戻す]
この項目を選んで[決定]を押すと、そのとき表示されているメニューを工場出荷時の設定に戻します。

ガイダンス表示
操作のしかたが表示されます。

❖ リモコンの[▽][△]は本体の[▽][△](CHANNEL)、[◁][▷]は本体の[◁][▷](VOLUME)、[決定]は本体の◯(ENTER)でも操作できます。

メニュータブ

このタブでメインメニューを選びます。設定メニューには、5つのメインメニューがあります。

1 メニュータブが選択状態（黄色表示）のときに◁▷を押す

押すたびにメインメニューが変わります。

設定項目

2 メニュータブでメインメニューを選んだあと▽を押す

表示されているメインメニューの一番上の設定項目が選択状態（黄色表示）になります。

3 ▽△を押して設定項目を選び、決定を押す

設定項目によって決定を押したあとの操作が異なります。

設定値を選ぶ項目の場合

（[ ] の設定値のみが表示されている項目）

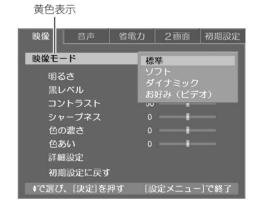
選択メニューが表示されます。

▽△を押して設定値を選び、決定を押して決定します。

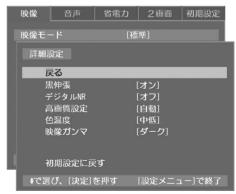
調整バーで設定する項目の場合

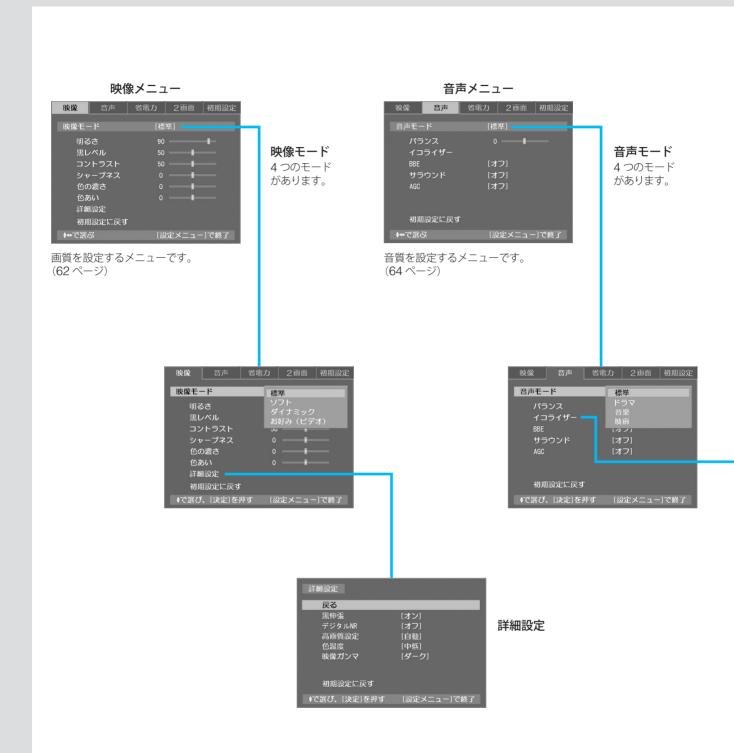
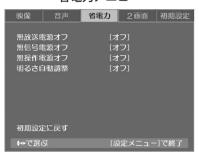
（━━━━ が表示されている項目）

調整メニューが表示されます。（調整メニューの表示中は設定メニューは表示されません）

◁▷を押して調整し、決定または戻るを押して決定します。

詳細メニューで設定する項目の場合

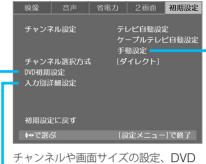
（設定値が表示されていない項目）

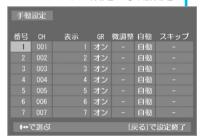
詳細メニューが表示されます。

各項目を設定したあと、［戻る］を選んで決定を押すか戻るを押すと、詳細メニューが終了して元のメニューに戻ります。

設定メニューのメニュー一覧

省電力メニュー

電力消費を抑える設定をするメニューです。（66 ページ）

2 画面メニュー

2 画面表示についての設定をするメニューです。（66 ページ）

初期設定メニュー

チャンネルや画面サイズの設定、DVD 初期設定メニューの呼び出しをするメニューです。（68 ページ）

チャンネル設定の手動設定

入力別詳細設定

イコライザー設定

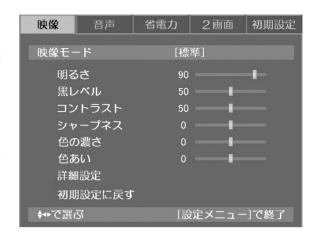
DVD 初期設定

DVD 初期設定には、さらにサブメニューがあります。（76 ページ）

調整と設定

画質を設定する

映像モード（24 ページ）を設定するメニューです。

このメニューでは、はじめに［映像モード］で映像モード（［標準］、［ソフト］、［ダイナミック］、［お好み］）を選びます。
初期設定（工場出荷の設定）では、それぞれの映像モードに合わせた設定がされていますが、好みに応じて変更することができます。
［お好み］以外の映像モードの設定は、すべての映像入力で共通して使えます。

設定項目	設定値	説明
映像モード	標準	標準的な画質で表示されるように設定されています。
	ソフト	映画などのフィルム映像に適したソフトな表示に設定されています。
	ダイナミック	メリハリのあるくっきりとした表示に設定されています。
	お好み（テレビ） （ビデオ） （DVD） （D 端子）	映像入力ごとに専用の設定ができます。 工場出荷時には、［標準］と同じ設定になっています。
明るさ	0 ～ 100	バックライトの明るさを調整します。値が高いほど明るく、低いほど暗くなります。
黒レベル	0 ～ 100	映像の黒色の状態を調整します。値が高いほど黒が明るくなり、低いほど黒の沈んだ映像になります。
コントラスト	0 ～ 100	映像の明暗を調整します。値が高いほど明暗がはっきりし、低いほど明暗の差が少なくなります。
シャープネス	－ 7 ～＋ 7	映像の輪郭を調整します。値が高いほど輪郭がはっきりし、低いほど輪郭がぼやけます。
色の濃さ	－ 50 ～＋ 50	映像の色の濃さを調整します。値が高いほど色が濃くなり、低いほど色が薄くなります。
色あい	－ 50 ～＋ 50	色相を調整します。［＋］方向では緑がかった映像になり、［－］方向では赤みがかった映像になります。
詳細設定		詳細設定メニュー（右ページ）を表示します。

注意 ［黒レベル］、［コントラスト］、［色の濃さ］、［色あい］の調整で、設定値を上げすぎたり下げすぎたりすると、画面が見づらくなる場合があります。

詳細設定メニュー

詳細設定

戻る
黒伸張　[オン]
デジタルNR　[オフ]
高画質設定　[自動]
色温度　[中低]
映像ガンマ　[ダーク]

初期設定に戻す

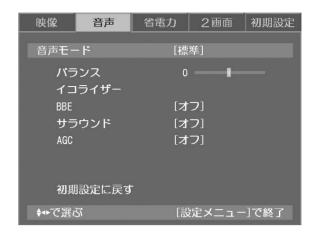
♦で選び、[決定]を押す　[設定メニュー]で終了

設定項目	設定値	説明
黒伸張	オン / オフ	[オン]にすると、黒浮きを抑え、引き締まった映像になります。(映像入力がテレビ、ビデオのときのみ設定できます)
デジタル NR	オフ / 弱 / 中 / 強	映像の暗部に発生する細かいノイズを低減する度合いを設定します。
高画質設定	自動 / 動画 1/ 動画 2 / 静止画	IP (インターレースープログレッシブ)変換の処理方法を選びます。 [自動]を選ぶと、映像にあわせて自動で IP 変換をおこないます。 IP 変換処理が正しく動作しない場合は、映像にあわせてそれぞれの設定を選んでください。 [動画 1]はフィルムや CG など映像、[動画 2]はテレビドラマなどの一般的な映像、[静止画]は静止画像に適した設定です。
色温度	高 / 中高 / 中 / 中低 / 低	映像の白色温度を調整します。設定値が高いほど青みがかった白になり、低いほど赤みがかった白になります。
映像ガンマ	標準 / ダーク / ハイライト	ガンマ補正の効かせかたを選びます。 [標準]を選ぶと、標準的なガンマ補正(γ =2.2)をおこないます。 [ダーク]を選ぶと、映像の暗部の階調を重視した補正をおこないます。 [ハイライト]を選ぶと、明るい部分の階調を重視した補正をおこないます。

注意 [デジタル NR] の設定によっては、画面が見づらくなる場合があります。

音質を設定する

音声モード（25 ページ）を設定するメニューです。

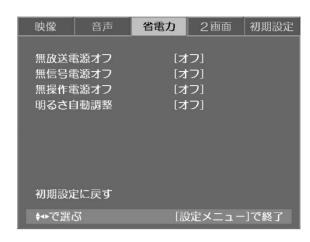
このメニューでは､はじめに［音声モード］で音声モード（[標準]、[ドラマ]、[音楽]、[映画]）を選びます。
初期設定（工場出荷の設定）では、それぞれの音声モードに合わせた設定がされていますが、好みに応じて変更することができます。
音声モードの設定は、すべての映像入力で共通して使えます。

設定項目	設定値	説明
音声モード	標準	標準的な音質で聞こえるように設定されています。
	ドラマ	ニュースやドラマなどの人の声が聞こえやすくなるように設定されています。
	音楽	低音から高音までをバランスよく聞こえるように設定されています。
	映画	迫力ある低音を再生し､かつ人の声が聞こえやすくなるように設定されています。
バランス	－６～＋６	左右のスピーカーの音量バランスを調整します｡[－]方向では左側の音量が大きくなり､[＋]の方向では右側の音量が大きくなります。
イコライザー		イコライザー設定メニュー（右ページ)を表示します。
BBE	オフ / オン	減衰しやすい高音域分を補い位相補正することで本来の自然な音に近づけ､人の声などを聞きやすくします。
サラウンド	オフ / 弱 / 中 / 強	音の広がり感の強さを設定します。
AGC	オフ / オン	テレビ番組と CM との切り換え時に感じられる音量の違いを軽減します。

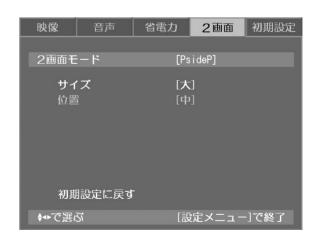
注意
- ［イコライザー］と［サラウンド］の設定によっては、音がひずむ場合があります。
- CD 音声の機能中は、音声モードが［CD 音声］に固定され、モードを選択することはできません。

イコライザー設定メニュー

設定項目	設定値	説明
高音	－６～＋６	設定値が高いほど高音域の音が強調され、低いほど高音域の音が弱くなります。
中高音	－６～＋６	設定値が高いほど中高音域の音が強調され、低いほど中高音域の音が弱くなります。
中音	－６～＋６	設定値が高いほど中音域の音が強調され、低いほど中音域の音が弱くなります。
中低音	－６～＋６	設定値が高いほど中低音域の音が強調され、低いほど中低音域の音が弱くなります。
低音	－６～＋６	設定値が高いほど低音域の音が強調され、低いほど低音域の音が弱くなります。

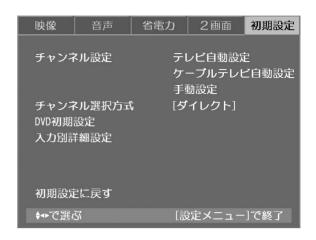
省電力の設定をする

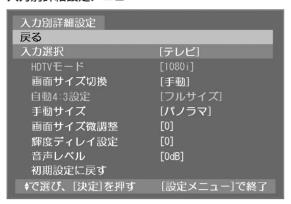
省電力の設定をするメニューです。

2 画面表示の設定をする

2 画面表示（32 ページ）をするときの画面の大きさや表示位置を設定するメニューです。

設定項目	設定値	説明
無放送電源オフ	オフ / オン	この設定をオンにすると、映像入力がテレビのときにテレビの放送がない（信号がない）状態が 10 分つづくと、自動的に電源を切ります。（CD 音声の機能中は、テレビの放送がない状態でも電源オフしません）
無信号電源オフ	オフ / オン	この設定をオンにすると、映像入力がビデオまたは D 端子のときにビデオ信号の入力がない状態が 10 分つづくと、自動的に電源を切ります。（CD 音声の機能中は、ビデオ信号の入力がない状態でも電源オフしません） また、CD 音声の機能中は、映像入力が DVD の場合のみ再生が終了して CD が停止した状態が 10 分つづくと、自動的に電源を切ります。
無操作電源オフ	オフ / オン	この設定をオンにすると、リモコンや本体での操作がない状態が 3 時間つづくと、自動的に電源を切ります。
明るさ自動調整	オフ / 暗 / 通常	［通常］を選ぶと、周りの明るさを監視し、バックライトの明るさを自動調整します。 ［暗］を選ぶと、少し暗めの表示となります。

設定項目	設定値	説明
2 画面モード	PsideP/PinP	2 画面表示をするときに、画面をどのように表示するかを設定します。 ［PsideP］を選ぶと、主画面を左側に副画面を右側に 2 つの画面を並べて表示します。 ［PinP］を選ぶと、主画面内に副画面を重ねて表示します。
サイズ	大 / 中 / 小	副画面のサイズを選びます。 ［大］は 1/2、［中］は 1/3、［小］は 1/6 のサイズになります。
位置	左上 / 右上 / 左下 / 右下	PinP のときの副画面の表示位置を選びます。 画面の 4 隅のどこに表示させるかを選びます。（［2 画面モード］の設定が［PinP］のときのみ設定できます）

初期設定をする

チャンネルや画面サイズなどの設定や、DVD 初期設定メニューを呼び出すためのメニューです。

設定項目	設定値	説明
チャンネル設定	テレビ自動設定	テレビのチャンネル設定を自動でおこなうことができます。(72 ページ)
	ケーブルテレビ自動設定	ケーブルテレビのチャンネル設定を自動でおこなうことができます。(73 ページ)
	手動設定	テレビ放送とケーブルテレビのチャンネル設定を手動でおこなうことができます。(74 ページ) チャンネル名の設定や受信周波数の微調整など、詳細な設定ができます。
チャンネル選択方式	ダイレクト /10 キー	リモコンの数字ボタンの役割を設定します。 [ダイレクト]を選ぶと、数字ボタンを押したときにそのボタンに割り当てられているチャンネルが表示されます。(20 ページ) [10 キー]を選ぶと、数字ボタンを押したときに数字が入力されます。チャンネルを番号入力で選ぶとき(20 ページ)には、こちらに設定します。
DVD 初期設定		DVD 初期設定メニューを表示します。操作のしかたについては、76 ページをご覧ください。 DVD 初期設定メニュー 言語 デジタル出力 パレンタル /決定/設定メニュー
入力別詳細設定		入力別詳細設定メニュー (右ページ)を表示します。

入力別詳細設定メニュー

設定項目	設定値	説明
入力選択	テレビ /DVD / ビデオ /D 端子	はじめに詳細設定を適用する映像入力を選びます。映像入力を選んで(決定)を押すと、映像入力がかわります。
HDTV モード	1080i/1035i	ハイビジョン放送を視聴するときに設定します。(映像入力が D 端子のときのみ設定できます) 1080i/1035i 信号の映像を表示しているとき、映像の上の黒い帯が気になる場合に[1035i]を選びます。
画面サイズ切換	自動 1(信号判別) / 自動 2(映像判別) / 手動	入力された映像信号に合わせて、画面サイズを自動的に切り換えるかどうかを設定します。詳しくは 70 ページをご覧ください。 [自動 1(信号判別)]を選ぶと、映像のアスペクト情報を判別して自動的に画面サイズを切り換えます。 [自動 2(映像判別)]を選ぶと、映像のアスペクト情報に加えて上下の帯や字幕の有無を判別して自動的に画面サイズを切り換えます。 [手動]を選ぶと、自動切り換えはおこないません。
自動 4:3 設定	標準サイズ / パノラマ	[画面サイズ切換]の設定が[自動 1 または 2]のときに、縦横比 4:3(従来のテレビサイズ)の映像をどのように表示するかを設定します。 [標準サイズ]を選ぶと、4:3 の画面で表示します。(画面の左右に黒帯が表示されます) 「パノラマ」を選ぶと、パノラマサイズで画面いっぱいに表示します。
手動サイズ	フルサイズ / 標準サイズ / パノラマ / ワイド / 字幕ワイド / パノラマズーム	[画面サイズ切換]の設定が[手動]になっている場合に本機の電源を入れたとき、どの画面サイズで表示されるかを設定します。
画面サイズ 微調整	2 / 1 / 0 / − 1 / − 2 /	画面サイズを微調整します。 サイズを拡大する場合は[+]方向に、縮小する場合は[−]方向に設定します。
輝度ディレイ 設定	3 / 2 / 1 / 0 / − 1 / − 2 / − 3 /	映像の色ずれを調整します。(映像入力がテレビ、ビデオのときのみ設定できます) 映像の輪郭より右に色がずれている場合は[+]方向に、左にずれているときは[−]方向に設定します。
音声レベル	0dB/ − 6dB / − 12dB/ − 18dB	映像入力の音声レベルの違いを調整します。(映像入力がテレビ、ビデオ、D 端子のときのみ設定できます) 例えば、テレビと DVD(ドルビーデジタル収録)では平均的な音声レベルが異なるため、映像入力を DVD からテレビに切り換えたときに大音量になる場合があります。このような場合には、テレビの音声レベルを[− 18dB]に下げると音量差を軽減することができます。

［画面サイズ切換］が［自動］のときの画面サイズ

初期設定メニューの［入力別詳細設定］で［画面サイズ切換］を［自動］に設定したときに、入力された映像信号によってどの画面サイズで表示されるかを説明します。

［自動 1（信号判別）］は入力された信号のアスペクト情報（S2、ID-1、D 端子識別ライン）によって、自動的に画面サイズ（フルサイズ、標準サイズ、パノラマ、ワイド）を切り換えます。

［自動 2（映像判別）］はアスペクト情報に加えて、上下の帯や字幕などによって変わる映像の表示領域を判別し、自動的に画面サイズ（フルサイズ、標準サイズ、パノラマ、ワイド、字幕ワイド、パノラマズーム）を切り換えます。映像によっては、正常に画面サイズ切換が働かない場合があります。その場合は、手動で画面サイズを切り換えてください。

❖［画面サイズ切換］設定のしかたは、69 ページをご覧ください。
❖ 各画面サイズについては、31 ページをご覧ください。

映像入力がテレビの場合

入力映像信号	アスペクト情報	実際に表示される画面	
		自動 1（信号判別）	自動 2（映像判別）
4：3	—	標準サイズ または※1 パノラマ	自動 1 と同様
レターボックス	なし	標準サイズ または※1 パノラマ	ワイド

※1　どちらが表示されるかは［自動 4：3 設定］の設定（［標準サイズ］/［パノラマ］）によります。（69 ページ）

映像入力が DVD の場合

入力映像信号	アスペクト情報	実際に表示される画面	
		自動 1（信号判別）	自動 2（映像判別）
4:3　4：3	—	標準サイズ または※2 パノラマ	自動 1 と同様
LB WIDE SCREEN レターボックス	あり	ワイド	ワイド
	なし	標準サイズ または※2 パノラマ	
LB WIDE SCREEN レターボックス字幕つき	あり	ワイド	字幕ワイド
	なし	標準サイズ または※2 パノラマ	
16:9 LB　16：9	あり	フルサイズ	自動 1 と同様

※2　どちらが表示されるかは［自動 4：3 設定］の設定（［標準サイズ］/［パノラマ］）によります。（69 ページ）

映像入力がビデオの場合、または D 端子で D1/D2 信号が入力されている場合

入力映像信号	アスペクト情報	実際に表示される画面 自動 1（信号判別）	自動 2（映像判別）
4：3	－	標準サイズ または※3 パノラマ	自動 1 と同様
レターボックス	あり	ワイド	ワイド
	なし	標準サイズ または※3 パノラマ	
レターボックス字幕つき	あり	ワイド	字幕ワイド
	なし	標準サイズ または※3 パノラマ	
16：9	あり	フルサイズ	フルサイズ
	なし	標準サイズ または※3 パノラマ	
16：9 主画面 4：3	あり	フルサイズ	フルサイズ または※4 パノラマズーム
	なし	標準サイズ または※3 パノラマ	自動 1 と同様

※ 3　どちらが表示されるかは［自動 4：3 設定］の設定（［標準サイズ］/［パノラマ］）によります。（69 ページ）
※ 4　［自動 4：3 設定］の設定が［パノラマ］の場合は「パノラマズーム」で表示されます。

映像入力が D 端子で D3/D4/HDTV 信号が入力されている場合

入力映像信号	アスペクト情報	実際に表示される画面 自動 1（信号判別）	自動 2（映像判別）
16：9	－	フルサイズ	自動 1 と同様
16：9 主画面 4：3	－	フルサイズ	フルサイズ または※5 パノラマズーム

※ 5　［自動 4：3 設定］の設定が［パノラマ］の場合は「パノラマズーム」で表示されます。

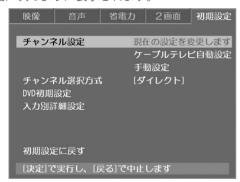
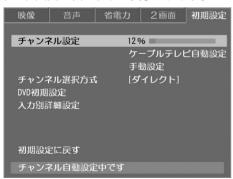
調整と設定

チャンネルを自動で設定する

テレビのチャンネルを自動設定するには

1 初期設定メニューで[テレビ自動設定]を選び、(決定)を押す

❖ テレビ以外の映像入力を選んでいるときは、(決定)を押すと映像入力がテレビにかわります。

画面に次のように表示されます。

2 もう一度(決定)を押す

自動設定が開始されます。
設定中は、画面に次のように表示されます。

設定が終了すると、手動設定メニュー（74 ページ）が表示されます。チャンネルを修正したいときは、ここで修正してください。

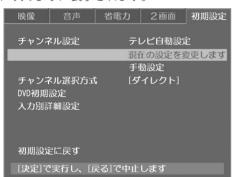
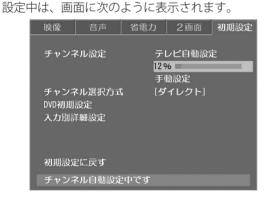
修正の必要がなければ、(戻る)を押してください。
初期設定メニューに戻ります。

❖ [テレビ自動設定]では、1 から 12 チャンネルの放送がある場合は、該当する数字ボタンにそのチャンネルを割り当てます。

13 以降のチャンネルの放送がある場合は、3 から 12 までのうち空いているボタンに順に割り当てます。空いているボタンがない場合は、13 以降の番号が割り当てられます。

ケーブルテレビのチャンネルを自動設定するには

1 初期設定メニューで[ケーブルテレビ自動設定]を選び、(決定)を押す

画面に次のように表示されます。

2 もう一度(決定)を押す

自動設定が開始されます。
設定中は、画面に次のように表示されます。

設定が終了すると、手動設定メニュー(74 ページ)が表示されます。チャンネルを修正したいときは、ここで修正してください。

修正の必要がなければ、(戻る)を押してください。
初期設定メニューに戻ります。

注意 ケーブルテレビをご覧になるには、ケーブルテレビ会社との契約とケーブル工事などが必要です。

調整と設定

チャンネルを手動で設定する

1 あらかじめ初期設定メニューで［チャンネル選択方式］を［ダイレクト］に設定しておく

［チャンネル選択方式］を［10 キー］に設定しているときも同じ手順で手動設定ができますが、その場合は、数字ボタンへのチャンネルの割り当て設定ができません。

2 初期設定メニューで［手動設定］を選び、(決定)を押す

手動設定メニューが表示されます。

❖ テレビ以外の映像入力を選んでいるときは、(決定)を押すと映像入力がテレビにかわります。

手動設定メニューの操作のしかたは、次のとおりです。

番号	CH	表示	GR	微調整	自動	スキップ
1	001	1	オン	−	自動	−
2	002	2	オン	−	自動	−
3	003	3	オン	−	自動	−
4	004	4	オン	−	自動	−
5	005	5	オン	−	自動	−
6	006	6	オン	−	自動	−
7	007	7	オン	−	自動	−

◆◀▶で選ぶ　［戻る］で設定終了

1 ［番号］の列に黄色表示を置き、▽△を押して設定したい番号を選ぶ

2 ▷を押す

選んだ番号の設定に移ります。

3 ◁▷を押して設定したい項目を選ぶ

4 ▽△を押して、設定値を変更する

別の番号を設定するときは、◁を押して［番号］の列に黄色表示を移動して、手順 **1** から **4** を繰り返します。

5 (戻る)を押す

設定が保存され、手動設定メニューが終了します。

［チャンネル選択方式］を［10 キー］に設定しているときは、メニューは次のようになります。

番号	CH	表示	GR	微調整	自動	スキップ
	001	1	オン	−	自動	−
−	002	2	オン	−	自動	−
−	003	3	オン	−	自動	−
−	004	4	オン	−	自動	−
−	005	5	オン	−	自動	−
−	006	6	オン	−	自動	−
−	007	7	オン	−	自動	−

◀▶で選び、◆で変更　［戻る］で設定終了

❖ リモコンの▽△は本体の▽△(CHANNEL)、◁▷は本体の◁▷(VOLUME)、(決定)は本体の◯(ENTER)でも操作できます。

設定項目	設定値	説明
番号		初期設定メニューの[チャンネル選択方式]を[ダイレクト]に設定しているときに手動設定メニューを呼び出した場合は、この列で設定する番号を選びます。 初期設定メニューの[チャンネル選択方式]を[10 キー]に設定しているときに手動設定メニューを呼び出した場合は、この列には[－]が表示されます。
CH		放送局を選びます。 [チャンネル選択方式]を[ダイレクト]に設定しているとき、1 から 12 までの番号に設定された放送局は、リモコンの数字ボタンの 1 から 12 に割り当てられます。
表示		画面表示 を押したとき(22 ページ)などに表示されるチャンネル名を設定します。大文字アルファベットと数字、空白を使って最大 4 文字の名前が設定できます。 文字の設定のしかたは、次のとおりです。 **1** ◁▷を押して 1 文字めの桁を選ぶ（CH 001 表示 1 GR オン） **2** ▽△を押して文字や数字を選ぶ（CH 001 表示 N 1 GR オン） **3** ▷を押して 2 文字めを選ぶ（CH 001 表示 N 1 GR オン） **4** 手順 **2** から **3** を繰り返して名前を設定する（CH 001 表示 N H K GR オン）
GR	オン / オフ	ゴーストが発生する場合にゴーストリダクションを使用するかどうかを選びます。受信している放送にゴースト除去信号が含まれている場合は、[オン]を選ぶとゴーストを軽減することができます。放送にゴースト除去信号が含まれていない場合は効果ありません。 **注意 ゴーストリダクションについて** **• チャンネルを切り換えてから数秒後に効果があらわれます。** **• ゴーストが軽減できず見づらい場合（強いゴーストや電波状況が悪いときなど）には、設定を［オフ］にしてください。**
微調整	－ 32 ～＋ 32	受信する周波数を微調整することができます。自動設定したチャンネルの映りが悪いときに調整すると、改善する場合があります。
自動	自動 / －	受信する周波数の調整を自動でおこないます。[微調整]を設定しているときは、[－]が表示されます。[自動]を選ぶと、[微調整]の項目が[－]になります。
スキップ	スキップ / －	[スキップ]を選ぶと、リモコンの チャンネル ∧∨ や本体の ▽ △ CHANNEL でチャンネルを切り換えるときに、そのチャンネルを表示しません。

DVD初期設定メニューの基本操作とメニュー一覧

初期設定メニューで[DVD 初期設定]を選び、(決定)を押す

DVD 初期設定メニューが表示されます。

❖ DVD 以外の映像入力を選んでいるときは、(決定)を押すと映像入力が DVD にかわります。

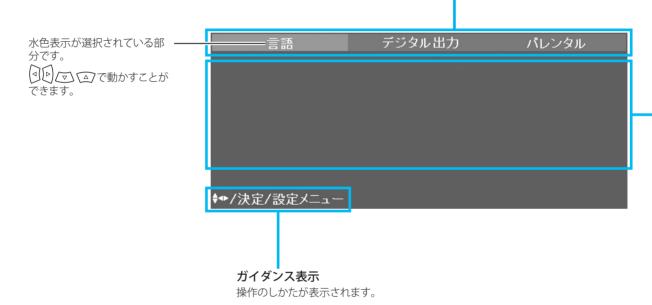
❖ DVD 再生中は、DVD 初期設定メニューは表示できません。

メニューバー

このバーでメニューを選びます。

1 メニューバーが選択状態(水色表示)のときに◁▷を押す

メニュー一覧

言語メニュー

設定項目

2 メニューバーでメニューを選んだあと ▽ を押す

サブメニューが表示され、メニューの一番上の設定項目が選択状態（水色表示）になります。

3 ▽ △ を押して設定項目を選び、決定 を押す

設定値が表示されます。

4 ▽ △ を押して設定値を選び、決定 を押す

選んだ設定値に設定されます。

5 設定メニュー を押す

DVD 初期設定メニューが終了します。

注意 パレンタルメニューでは操作が異なります。パレンタルメニューの設定は、82 ページをご覧ください。

デジタル出力メニュー

パレンタルメニュー

言語を設定する

出力される音声や字幕、DVD メニューの言語を設定します。

注意 設定は、必ずディスクが完全に停止してからおこなってください。

設定項目	設定値	説明
音声	ディスク English 日本語 その他	DVD で再生される音声の言語を設定します。
字幕		DVD で表示される字幕の言語を設定します。
DVD メニュー		DVD メニューで表示される文字の言語を設定します。

設定値はすべての設定項目で共通です。
［ディスク］を選ぶと、ディスクで優先に設定している言語が表示されます。

［その他］を選ぶと、この設定値以外の言語が設定できます。
操作のしかたは次のとおりです。

1 ［その他］を選んで（決定）を押す

コード入力状態になります。

2 リモコンの数字ボタンで言語コードを入力する

言語コードは右ページの言語コード一覧表をご覧ください。

3 を押す

その言語に設定されます。

言語コード一覧表

コード	言語
6565	Afar
6566	Abkhazian
6570	Afrikaans
6577	Amharic
6582	Arabic
6583	Assamese
6589	Aymara
6590	Azerbaijani
6665	Bashkir
6669	Byelorussian
6671	Bulgarian
6672	Bihari
6673	Bislama
6678	Bengali; Bangla
6679	Tibetan
6682	Breton
6765	Catalan
6779	Corsican
6783	Czech
6789	Welsh
6865	Danish
6869	German
6890	Bhutani
6976	Greek
6978	English
6979	Esperanto
6983	Spanish
6984	Estonian
6985	Basque
7065	Persian
7073	Finnish
7074	Fiji
7079	Faroese
7082	French
7089	Frisian
7165	Irish
7168	Scots Gaelic
7176	Galician
7178	Guarani
7185	Gujarati
7265	Hausa
7273	Hindi
7282	Croatian
7285	Hungarian
7289	Armenian
7365	Interlingua

コード	言語
7369	Interlingue
7375	Inupiak
7378	Indonesian
7383	Icelandic
7384	Italian
7387	Hebrew
7465	Japanese
7473	Yiddish
7487	Javanese
7565	Georgian
7575	Kazakh
7576	Greenlandic
7577	Cambodian
7578	Kannada
7579	Korean
7583	Kashmiri
7585	Kurdish
7589	Kirghiz
7665	Latin
7678	Lingala
7679	Laothian
7684	Lithuanian
7686	Latvian, Lettish
7771	Malagasy
7773	Maori
7775	Macedonian
7776	Malayalam
7778	Mongolian
7779	Moldavian
7782	Marathi
7783	Malay
7784	Maltese
7789	Burmese
7865	Nauru
7869	Nepali
7876	Dutch
7879	Norwegian
7967	Occitan
7977	(Afan) Oromo
7982	Oriya
8065	Punjabi
8076	Polish
8083	Pashto, Pushto
8084	Portuguese
8185	Quechua
8277	Rhaeto-Romance

コード	言語
8278	Kirundi
8279	Romanian
8285	Russian
8287	Kinyarwanda
8365	Sanskrit
8368	Sindhi
8371	Sangro
8372	Serbo-Croatian
8373	Singhalese
8375	Slovak
8376	Slovenian
8377	Samoan
8378	Shona
8379	Somali
8381	Albanian
8382	Serbian
8383	Siswati
8384	Sesotho
8385	Sundanese
8386	Swedish
8387	Swahili
8465	Tamil
8469	Telugu
8471	Tajik
8472	Thai
8473	Tigrinya
8475	Turkmen
8476	Tagalog
8478	Setswana
8479	Tonga
8482	Turkish
8483	Tsonga
8484	Tatar
8487	Twi
8575	Ukrainian
8582	Urdu
8590	Uzbek
8673	Vietnamese
8679	Volapük
8779	Wolof
8872	Xhosa
8979	Yoruba
9072	Chinese
9085	Zulu

デジタル出力の設定をする

本機に接続するオーディオ機器に合わせて設定します。

注意
- 設定は、必ずディスクが完全に停止してからおこなってください。
- 光デジタル音声出力端子にドルビーデジタルデコーダーを内蔵していない機器を接続したときは、［BitStream］にしないでください。音が出ないことや異音が出て機器が破損することがあります。
- 光デジタル音声出力端子に DTS デコーダーを内蔵していない機器を接続したときは、［DTS］を［On］にしないでください。大音量が出力され、耳に傷害を受けたり、スピーカーが破損することがあります。
- 光デジタル音声出力端子に MPEG2 デコーダーを内蔵していないアンプを接続したときは、［BitStream］にしないでください。音が出ないことや異音が出て機器が破損することがあります

設定項目	設定値	説明	
96kHz LPCM	96kHz LPCM /48kHz LPCM	［96kHz LPCM］	96kHz 対応のアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。ディスクによっては、96kHz の信号が出ないものもあります。
		［48kHz LPCM］	96kHz に対応していないアンプまたはデコーダーと接続するときに選びます。96kHz の信号を48kHz に変換して出力します。
Dolby Digital	LPCM/BitStream	［LPCM］	ドルビーデジタルに対応していないオーディオ機器で再生するときに選びます。ドルビーデジタル信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。
		［BitStream］	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵したオーディオ機器と接続したときに選びます。
DTS	On/Off	［On］	DTS デコーダーを内蔵したオーディオ機器と接続したときに選びます。
		［Off］	DTS に対応していないオーディオ機器で再生するときに選びます。
MPEG	LPCM/BitStream	［LPCM］	MPEG に対応していないオーディオ機器で再生するときに選びます。MPEG 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。
		［BitStream］	MPEG に対応したオーディオ機器と接続したときに選びます。

視聴年齢を制限する

暴力画面などを含む DVD ソフトには、視聴する人の年齢を制限できるようになっているものがあります。パレンタルメニューでは、どのレベルまで再生できるかを設定できます。
適切なレベルは、実際にお客様ご自身で動作させてご確認ください。

注意 設定は、必ずディスクが完全に停止してからおこなってください。

設定項目	設定値	説明
パスワード		視聴年齢制限の設定を変更できないようにパスワードを設定します。
レベル	Off/1 ～ 8	視聴制限のレベルを 8 段階で設定します。 [Off] 視聴制限の設定を解除します。 [1] 子供向けのディスクのみ再生できます。一般向けと成人向けのディスクは再生できません。 [2 ～ 7] 子供向けと一般向けのディスクが再生できます。成人向けのディスクは再生できません。 [8] すべてのディスクを再生できます。

視聴年齢制限を設定するには

1 メニューバーでパレンタルメニューを選ぶ

2 ▽または(決定)を押す

サブメニューが表示されます。

3 ▽を押して[レベル]を選び、(決定)を押す

(決定)を押すたびにレベルが次のように変わります。

Off→1→2→3→4→5→6→7→8→Off…

4 △を押して[パスワード]を選ぶ

暗証番号の入力状態になります。

5 リモコンの数字ボタンで 4 桁の数字を入力する

画面には「＊＊＊＊」と表示されます。

やり直す場合には、(クリア 11)を押して再入力してください。

6 (決定)を押す

パスワードが設定され、視聴年齢制限が設定されます。
パスワードが設定されていると、画面のが に変わります。
レベル設定を変更する場合は、［パスワード］にリモコンの数字ボタンで暗証番号を入力して(決定)を押したあと、手順3からやり直してください。

視聴年齢制限を解除するには

1 設定の手順1、2をおこなう

2 リモコンの数字ボタンで暗証番号を入力して、(決定)を押す

3 ▽を押して[レベル]を選び、(決定)を押して[Off]を選ぶ

レベル変更の画面が表示されたときは

メッセージ制限のあるディスクを再生しようとしたときに、レベルを変更するように要求する画面が表示された場合は、次のようにしてください。

1 ▽△を押して[はい]を選び、(決定)を押す

暗証番号を入力する画面が表示されます。
［いいえ］を選ぶと再生できません。

2 リモコンの数字ボタンで暗証番号を入力する

一時的に再生できるようになります。

> **注意** 再生を停止すると、制限が働いて次の再生ができなくなる場合があります。

暗証番号を忘れたときは

1 ▽△を押して[パスワード]を選ぶ

暗証番号の入力状態になります。

2 リモコンの数字ボタンで「770117」を入力して、(決定)を押す

パスワードの設定が解除されます。

3 新しいパスワード(4 桁)を入力して、(決定)を押す

トラブル時の対処

修理をご依頼になる前に、もう一度次の項目を確認してください。それでも症状が改善しない場合は、
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。

■ テレビのトラブル

症状	原因や対処
主電源が入らない	電源コードがコンセントや本体の電源コネクタからはずれていませんか？ ➔ 電源コードの接続を確認してください。
本体の電源ボタンで電源が入らない	本体の主電源は入っていますか？　主電源が入っていないと、電源を入れることはできません。
リモコンの電源ボタンで電源が入らない	本体の主電源は入っていますか？　主電源が入っていないと、リモコンで電源を入れることはできません。 本体のリモコン受光部に向けていますか？ ➔ リモコン受光部に向けて電源ボタンを押してください。 電池が消耗していませんか？ 電池を入れる方向が間違っていませんか？ ➔ 電池を確認してください。
リモコン操作ができない	電池が消耗していませんか？ 電池を入れる方向が間違っていませんか？ ➔ 電池を確認してください。
テレビ放送が映らない	アンテナケーブルは正しく接続されていますか？ ➔ 接続を確認してください。 チャンネルは設定されていますか？ ➔ 設定メニューで確認してください。 ビデオや D 端子が選ばれていませんか？ ➔ 映像入力を確認してください。
テレビ放送の映りが悪い	アンテナが劣化していませんか？ ➔ アンテナを確認してください。 アンテナケーブルは正しく接続されていますか？ ➔ 接続を確認してください。
テレビを表示したときやチャンネルを切り変えた後、数秒後に画面の明るさや色が変わる	チャンネル設定の[GR]（ゴーストリダクション）を[オン]に設定している場合、テレビを表示したときやチャンネルを切り換えたときに、ゴーストリダクションが働いて画面の明るさや色が変わる場合があります。（特に、電波状態が悪い場合、大きな変化があります） 変化が気になる場合は、初期設定メニューの[手動設定]で[GR]を[オフ]に設定してください。ただし、[オフ]に設定するとゴーストリダクションが働かないため、ゴーストが多い場合は画面が見づらくなります。
ケーブルテレビが映らない	受信契約はお済みですか？　受信契約とケーブル引込工事がされていないと、ケーブルテレビの視聴はできません。 チャンネルは設定されていますか？ ➔ 設定メニューで確認してください。 契約されているチャンネルですか？　スクランブルのかかっているチャンネルは、契約されていないと視聴できません。

症状	原因や対処
映像が乱れる	近くで携帯電話を使っていませんか？ ➔ 携帯電話の使用場所や備えつけ場所を変えてみてください。
画面にはん点が出る	自動車やオートバイ、電車、高圧線、ドライヤー、蛍光灯などが発生する電磁波の影響が考えられます。 ➔ 設置場所を変えてみてください。
画面にしま模様が出たり、色が消えたりする	他のテレビやパソコン、AV 機器、電子レンジなどの電子機器が発生する電磁波の影響が考えられます。 ➔ 本機や電子機器の設置場所を変えてみてください。
チャンネルや映像入力を切り換えたときに一瞬画面が黒くなる	チャンネルや映像入力を切り換えるときに発生する画像の乱れを見えにくくするために、一瞬画面を暗くしています。故障ではありません。
音が出ない	消音にしていませんか？
接続した AV 機器の映像や音声が出ない	AV 機器は正しく接続されていますか？ ➔ 接続を確認してください。 映像入力端子に入力される信号を表示する場合、S 映像入力端子にケーブルが接続されていると、映像は表示されません。 機器を接続した映像入力を選んでいますか？ ➔ 映像入力を確認してください。 接続した AV 機器は正常に動作していますか？ ➔AV 機器の動作を確認してください。
映像入力を切り換えると音量が変わる（映像入力によって音量に差がある）	テレビ放送や DVD、外部機器（VTR など）によって、平均的な音声レベルが異なるために、音量が変化したように感じます。 ➔ 音声レベルの設定を確認してください。(69 ページ)
AV 機器の早送りや早戻しなどの特殊再生で映像が乱れる	ハイビジョン対応以外のテープデッキや、TBC（タイムベースコレクタ）が装備されていない機器を接続したときに、症状が発生する場合があります。
画面が切り換わっても以前に表示されていた画像の残像が表示される	静止画状態が続くと、画面を切り換えたときに以前の画像が残像となって見える場合がありますが、しばらくすると消えていきます。液晶パネルの特性であり故障ではありません。
映像モードが選べない	次の機能を使っていませんか？　その場合は映像モードは選べません。 • 画面静止　• 消音　• 2 画面表示
音声モードが選べない	次の機能を使っていませんか？　その場合は音声モードは選べません。 • 画面静止　• 消音　• 2 画面表示　• CD 音声
画面サイズが切り換えられない	次の機能を使っていませんか？　その場合は画面サイズは切り換えられません。 • 画面静止　• 消音　• 2 画面表示
2 画面表示ができない	2 画面表示できない組み合わせを選んでいませんか？ テレビとビデオ、DVD と D 端子、同じ映像入力の組み合わせでは 2 画面表示できません。 次の機能を使っていませんか？　その場合は 2 画面表示できません。 • 消音　• CD 音声
画面静止ができない	2 画面表示にしていませんか？　2 画面表示中は画面静止できません。
ステレオ / モノラルや音声多重の切り換えができない	次の機能を使っていませんか？　その場合は音声の切り換えはできません。 • 画面静止　• 消音　• 2 画面表示　• CD 音声 モノラル放送ではありませんか？　モノラル放送の場合は音声の切り換えはできません。 テレビ以外の映像を表示していませんか？　テレビ以外では音声の切り換えはできません。

付録

症状	原因や対処
CD 音声機能が使えない	次の機能を使っていませんか？　その場合は CD 音声機能は使えません。 ● 消音　● 2 画面表示 音楽用 CD を使用していますか？　音楽用 CD 以外では、CD 音声機能は使えません。
設定メニューが表示できない	次の機能を使っていませんか？　その場合は設定メニューは表示できません。 ● 画面静止　● 消音　● 2 画面表示
光デジタル音声出力端子に接続した機器から音声が出ない	光デジタルケーブルは正しく接続されていますか？ ➔ 接続を確認してください。 光デジタルケーブルを折り曲げていませんか？　光デジタルケーブルを折り曲げると破損することがあります。 ➔ ケーブルを確認してください。 DVD 初期設定メニューのデジタル出力メニューの設定は、接続した機器の仕様や目的に合っていますか？ ➔DVD 初期設定メニューを確認して、正しく設定してください。 DVD プレーヤー以外の音声を出力しようとしていませんか？　DVD プレーヤー以外の音声は、光デジタル音声出力端子からは出力できません。
突然電源が切れた	オフタイマー機能を使っていませんか？ 設定メニューで電源オフ機能を設定していませんか？ ➔ 設定メニューを確認してください。
本体上部や液晶パネル面が熱くなる	本体上部や液晶パネル面は温度が高くなりますが、故障ではありません。また、性能、品質には問題ありません。
本体の高さ調節ができない	スタンドのストッパーは開いていますか？ ➔ ストッパーを閉めた状態では高さの調節はできません。いったんストッパーを開いてから調節してください。 初めて高さを下げるときは、多少重いことがあります。（次回以降は軽い力で下げることができるようになります） また、高さを下げるときには、本体上部を押さえるのではなく、背面の取っ手を持って押し下げると容易に下がります。

■ DVD プレーヤーのトラブル

症状	原因や対処
再生が始まらない	ディスクは正しくセットされていますか？ 本機で再生できるディスクをセットしていますか？ ➔ ディスクを確認してください。 ディスクが汚れていませんか？ ➔ 汚れているときは、ディスクをクリーニングしてください。 DVD 初期設定メニューが表示されていませんか？ ➔DVD 初期設定メニューを終了して再生してください。 視聴年齢制限が設定されていませんか？ ➔ 視聴年齢制限のあるディスクを再生するときは、視聴年齢制限を解除するか、規制レベルを変更してください。
映像がきれいに映らない	ディスクが汚れていませんか？ ➔ 汚れているときは、ディスクをクリーニングしてください。
早送り / 早戻しのときに映像が乱れる	本機の機構上、多少乱れが出ることがあります。故障ではありません。

クリーニングについて

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

注意 **溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。**

■ キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください。）

■ 液晶パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

❖ パネル面のクリーニングには EIZO ScreenCleaner（別売品）のご利用をおすすめします。

内部にほこりがたまると、故障や火災の原因となることがあります。年に 1 度は内部の掃除、点検を販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

■ DVD プレーヤーのピックアップレンズ

ピックアップレンズが汚れると、音とびが起きたり、画像が乱れたりすることがあります。
クリーニングには、当社推奨 CD レンズクリーナー（日本精機宝石工業株式会社製）をお使いください。
その他のクリーニングディスクをお使いになると、レンズが破損したり、ディスクが取り出せなくなったりすることがあります。

仕様一覧

表示部	
液晶パネル	23V 型ワイド
画面寸法	501.1mm（幅）× 300.7mm（高さ）　対角：584mm
表示画素数	1280 ライン× 768 ドット
画素ピッチ	0.3915mm（幅）× 0.3915mm（高さ）
表示色	1677 万色
視野角	上下 170 度、左右 170 度　（CR≧10：1）

テレビ	
受信方式	NTSC
受信チャンネル	VHF 1 ～ 12 チャンネル UHF 13 ～ 62 チャンネル CATV C13 ～ C63 チャンネル

DVD プレーヤー	
対応メディア	DVD ビデオ、DVD-R（DVD ビデオフォーマット）、 音楽 CD、CD-R/RW（音楽 CD フォーマット）

音声	
スピーカー	10cm コーン型 フルレンジ・バスレフ 2 個
周波数	80Hz ～ 20kHz
出力音声	5W ＋ 5W（JEITA）
ヘッドホン出力	10mW ＋ 10mW（32 Ω）

入出力端子	
アンテナ端子	VHF/UHF 75 Ω F 型コネクタ
S 映像入力端子	DIN ミニ 4 ピン 1 系統 Y：1.0Vp-p/75 Ω C：0.286Vp-p/75 Ω
映像入力端子	ピンジャック 1 系統 1.0Vp-p/75 Ω
コンポーネント映像入力端子	D 端子 1 系統 対応フォーマット：480i、480p、1080i/1035i、720p Y：1.0Vp-p/75 Ω Cb、Cr：0.7Vp-p/75 Ω
音声入力端子	ステレオピンジャック 2 系統
ヘッドホン出力端子	直径 3.5mm ステレオミニジャック 1 系統
光デジタル音声出力端子	角型ジャック 1 系統

電源	
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz
消費電力	85W スタンバイ時 0.1W 以下

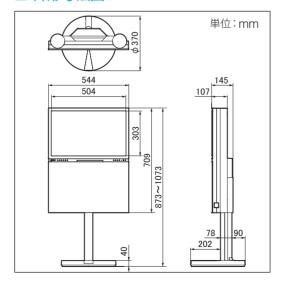
外形寸法	
スタンド含む	544mm（幅）× 873 ～ 1073mm（高さ）× 370mm（奥行き）
スタンド除く	544mm（幅）× 709mm（高さ）× 145mm（奥行き）

重量	
スタンド含む	19.5kg
スタンド除く	15.1kg

環境	
動作範囲	0 ～ 35℃　30 ～ 80%R.H.（結露しないこと）
保存範囲	－ 20 ～ 60℃　30 ～ 80%R.H.（結露しないこと）

適合規格

- 電気用品安全法
- 高調波ガイドライン適合品
  （本装置は、平成 6 年 10 月 3 日付け経済産業省エネルギー庁公益事業部長通達、
  6 資公部 第 378 号、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。）
- 本機は、レーザー安全基準 IEC60825-1 に適合しております。

■ 外形寸法図

D 端子の種類と対応映像信号（参考）

	525i（480i）	525p（480p）	1125i（1080i/1035i）	750p（720p）
D1	○	－	－	－
D2	○	○	－	－
D3	○	○	○	－
D4	○	○	○	○

付録

用語集

BBE（64 ページ）
本機には、音響を改善するための BBE 回路が搭載されています。BBE 回路は、米国 BBE サウンド社が開発したもので、スピーカーから出力される際に起こる高域、中域、低域の時間的なずれを減らし、また、減衰した高域を補正することで、スピーカーから聞こえる音をオリジナルの音に近づけることができます。

DTS（9、81 ページ）
5.1ch のデジタルサラウンド録音再生方式です。これは DVD のオプション音声として認められています。
本機を光デジタルケーブルで AV アンプなどに接続して DTS 音声収録のソフトを再生すると、リアルな音響効果が得られます。

D 端子（4、6、7、22、91 ページ）
デジタル放送に対応するために開発されたコンポーネント映像端子で、DVD プレーヤーやデジタル放送チューナーに搭載されています。
D 端子には、やりとりできる信号により D1 から D4 までの端子規格があります。D1 が通常のテレビ放送、D3 以上がハイビジョン放送に対応しています。現行の BS デジタルハイビジョンの信号は、D3/D4 規格になっています。

MPEG（9、81 ページ）
動画を圧縮する形式のひとつです。インターネットでの画像配信、CS 放送や BS デジタル放送、DVD などに使われています。ビデオ映像は、一般には 1 秒間に約 30 枚の画像（フレーム）で構成されますが、一枚一枚すべてを保存するとデータのサイズが膨大になるため、隣りあったフレームの同じような部分を共通で使うようにして、サイズを小さくします。
MPEG には、現在「MPEG-1」、「MPEG-2」、「MPEG-4」の規格があり、デジタル放送や DVD では MPEG-2 が使われています。
MPEG とは、Moving Picture Experts Group の略で、ISO により組織された専門家グループの名称がそのまま使われています。

PCM（81 ページ）
Pulse Code Modulation の略で、音声をデジタル化する方式のひとつです。音楽用 CD や DVD の音声に使われています。

イコライザー（65 ページ）
音声入力信号の周波数特性を変化させて音質を補正する機能です。周波数をいくつかの帯域に分け、それぞれを強めたり弱めたりすることで音質を調節します。

ガンマ補正（63 ページ）
入力される映像信号の電圧の強さと画面の明るさの関係をグラフにすると、直線とはならず緩やかな曲線を描いて変化します。この曲線の曲がり具合を表す数値をガンマ（γ）値と呼びます。黒レベルから白レベルの出力階調特性を任意の値に設定することをガンマ補正といい、暗部や明部の階調を重視したガンマ補正をかけると、一般的には S 字カーブの曲線を描きます。

コンポーネント映像端子（90 ページ）
ビデオ信号を、R（赤）、G（緑）B（青）信号または輝度信号（Y）と色差信号（Pb、Pr または Cb、Cr）に分離してやりとりする端子です。Y/C 分離が必要なコンポジット映像端子よりも、きれいな映像を表示することができます。本機に装備されている D 端子は、輝度信号と色差信号を分離して送るコンポーネント端子です。

デジタルノイズリダクション（63 ページ）
画面に現れるノイズを軽減する機能です。前のフレーム（MPEG の項参照）と新しいフレームとを比較し、ノイズを検出して除去します。ただし、動きの激しいシーンなどでは、正確にノイズを除去することができない場合があります。

ドルビーデジタル（9、81 ページ）
DVD の標準音声のひとつです。モノラルから5.1ch サラウンドなどで記録されています。ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）で記録されているソフトは、6 つのチャンネル（前方スピーカー：左 / センター / 右チャンネル + 後方スピーカー：左 / 右チャンネル + サブウーファー）に、それぞれシーンにあった音声が個別に記録されています。本機を光デジタルケーブルで AV アンプなどに接続してこのソフトを再生すると、臨場感あふれるマルチチャンネル再生をお楽しみいただけます。

パレンタルレベル（82 ページ）
視聴年齢制限のレベルのことです。パレンタル（Parental）は Parent（親、両親）からきた言葉で、「親が子供に見せたくない」という意味を持っています。

光デジタル音声出力（8、9、80 ページ）
デジタル音声のデータを、電気信号から光信号に変換して出力することです。光信号にすると、電子機器などからの電気的な影響を受けることがなくなり、ノイズのない音声を送ることができます。

レターボックス（31、70 ページ）
劇場映画をビデオソフトに収録するときの方法のひとつです。通常、映画の画面サイズには、ビスタサイズ（1：1.66 または 1：1.85）かシネマスコープサイズ（1：2.35）が使われています。このような映画をビデオ化する際に、画面の両端をカットせずに映像情報をすべて収録する手法がレターボックスです。そのため、レターボックスの映画ソフトを 4：3 のテレビで見ると、上下に黒い帯が入ります。

視聴年齢制限（82 ページ）
過激なシーンなどのある DVD ディスクには、視聴者の年齢を規制するレベルが設定されているものがあります。本機では、そのようなディスクを再生するときの規制レベルを設定することができます。

IP 変換（63 ページ）
画面の走査処理を I（インターレス）から P（プログレッシブ=ノンインターレス）に変換する技術です。DVD などデジタル処理されたビデオ信号で、ちらつきを軽減するなど、より高品質な画面を表示するために用いられます。

HDTV（69、71 ページ）
High Definition TeleVision の略で、高品位テレビとも呼ばれます。現在のテレビよりも高画質なテレビで、日本のハイビジョンもこれにあたります。HDTV には日米欧でさまざまな規格があり、現在のところ標準化できていません。

索引

数字
110度CS 6
2画面 32, 66

B
BBE 64, 92
BSチューナー 6

C
CD音声 26
CSチューナー 6

D
DTS 9, 81, 92
DVDのマーク 39
DVDメニュー 46
D端子 4, 92

I
IP変換 63, 93

M
MPEG 81, 92
MPEG2 9

P
PCM 81, 92
PinP 33, 67
PsideP 33, 67

S
S映像入力端子 4, 6, 7

あ
暗証番号 83
明るさ自動調整 34, 67
明るさセンサー 14, 34
アングル 39, 46, 54
アンテナ 5
アンテナ端子 4, 5
アンプ 8, 9, 81

い
イコライザー 64, 65, 92

え
映像入力端子 4, 6, 7
映像モード 24, 62

お
オフタイマー 28
音声切換 24
音声言語 46, 55, 78
音声入力端子 4
音声モード 25, 64

か
画面サイズ 30, 39, 69, 70
画面表示 22
ガンマ補正 63, 92

け
ケーブルカバー 11
ケーブルテレビ 21, 68, 73
言語コード 78

こ
ゴーストリダクション 75
コネクタカバー 4

さ
サラウンド 64

し
視聴年齢制限 82, 93
字幕 39, 46, 54, 78
字幕言語 55, 78
主画面 32
主電源スイッチ 14, 18
消音 26
初期設定 58

す
スキップ 75
スタンド 2
スタンドパイプ 3
ストッパー 3
スピーカー 14

せ
静止 27
設定メニュー 58

そ
操作ボタン 17
操作ロック 34

た
タイトル 39, 46, 48
端子部 4

ち
チャプター 39, 45, 46, 49
チャンネル 20, 68, 72, 74
調整バー 59
調整メニュー 59

て
ディスク 36, 38, 40
ディスクトレイ 14
デコーダー 9, 81
デジタルノイズリダクション 63, 92
デジタルハイビジョン 6
電源オフ機能 29, 67
電源コード 10
電源コネクタ 15
電源ランプ 14, 18, 19
転倒防止 10

と
取っ手 10, 15
トップメニュー 47
トラック 39, 45, 47, 49, 52
ドルビーデジタル 9, 81, 93
トレイロック 41

に
入力切換 22

は
ハイビジョンレコーダー 7
パレンタル 82
パレンタルレベル 93

ひ
光デジタル音声出力 93
光デジタル音声出力端子 4, 8, 9, 80
ピックアップレンズ 89

ふ
副画面 32
プログラム再生 52

へ
ヘッドホン端子 15

め
メインメニュー 59

ら
ランダム再生 50

り
リージョン番号 38, 39
リモコン 12, 16
リモコン受光部 14
リモコンホルダー 12

れ
レジューム 42
レターボックス 93

保証書とアフターサービスについて

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。

■ 保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より 3 年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低 8 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

■ 修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

［保証期間中の場合］

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。

［保証期間を過ぎている場合］

お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせはエイゾーサポート（裏表紙記載）までお願いいたします。

■ 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の後面部のラベル上および保証書に表示されている 8 けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

■ 廃棄および回収・リサイクルについて

本製品の電子部品、プリント基板、金属部品などには重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、廃棄および回収・リサイクルにお出しください。

●個人のお客様

本製品は「 家電リサイクル法 」対象外のため、自治体の指示に従って廃棄ください。

●法人のお客様

本製品は、法人ユーザー様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、弊社にてお客様の費用負担でお引取りいたします。詳細についてはエイゾーサポートまでお問い合わせください。また、弊社のホームページ（http://www.eizo.co.jp/）もあわせてご覧ください。

［エイゾーサポート］

電話での問い合わせ受付

TEL 076-274-7369（法人向け回収・リサイクル専用電話）
月曜日～金曜日（祝祭日及び弊社休日をのぞく）10：00 ～ 17：00

FAX での問い合わせ受付

FAX 076-274-2416

長年ご使用のテレビの点検を！	テレビセットを長期ご使用になりますと、内部のほこりなどの堆積によって故障する場合があります。	**愛情点検**

このような症状はありませんか？	● 電源を入れても映像や音が出ない ● 映像が時々消える ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする ● 製品内部に水や異物が入った ● 電源を切っても映像や音が消えない	**ご使用中止**	すぐに電源プラグを抜き、故障や事故の防止のため、必ず販売店またはエイゾーサポートに点検をご相談ください。

故障 / 修理に関するお問い合わせ先

● エイゾーサポート

電話での問い合わせ受付　本社：**076-274-2474**　東京：**03-3458-7737**　大阪：**06-6396-0357**

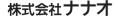
営業時間：9:30 ～ 17:30（月曜日～金曜日）／ 10:00 ～ 17:00（土曜日）※祝祭日、弊社休業日を除く

FAX での問い合わせ受付　**076-274-2416**

製品に関するお問い合わせ先

● EIZO コンタクトセンター　**0120-956-812**

受付時間：9:30 ～ 18:00（月曜日～金曜日）※祝祭日、弊社休業日を除く

株式会社ナナオ

〒924-8566　石川県白山市下柏野町153番地

www.eizo.co.jp

環境保護のため、再生紙を使用しています。

第3版　2005年3月　Printed in Japan.

00N0L001C1